

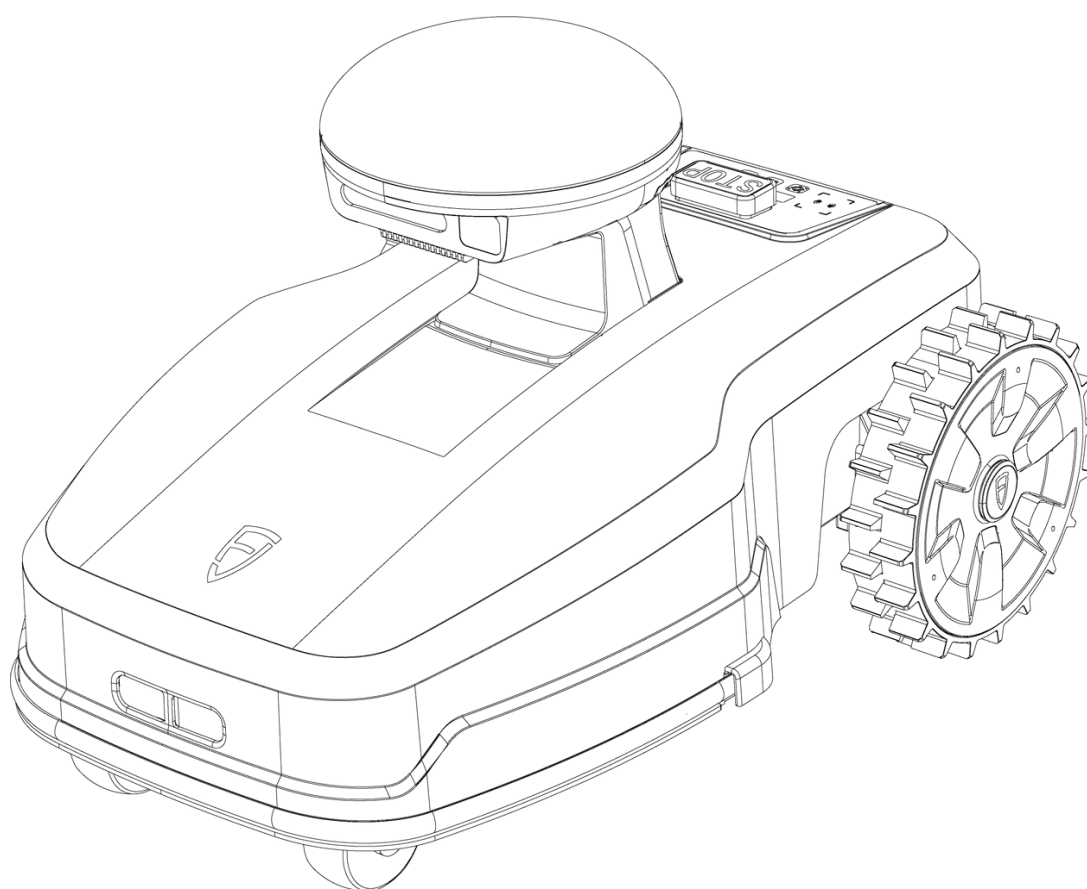
FJDynamics FR4000 ロボット 芝刈機 取扱 説明書 (JP)

表紙

FR4000 ロボット 芝刈機 マニュアル



FJDynamics



FR4000 ロボット 芝刈機

著作権ページ

著作権表示

無断使用禁止

本マニュアルの一部または全部について、電子、機械、写真複製、記録その他の手段を問わず、FJDynamics の事前の書面による許可なく、複製、コピー、配布、送信、改変、翻訳その他の方法で利用することを禁じます。

免責事項

本マニュアルに記載された情報は、情報提供のみを目的としており、予告なく変更される場合があります。FJDynamics は、本マニュアルに記載された情報の完全性または正確性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。FJDynamics は、本マニュアルの使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。

更新

本マニュアルは予告なく変更される場合があります。FJDynamics は、事前の通知または更新を行うことなく、いつでも本マニュアルの内容を更新する権利を留保します。

商標

FJDynamics および FJDynamics のロゴは FJDynamics の商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、それぞれの所有者の財産です。

連絡先

FJDynamics またはその製品に関する詳細は、ウェブサイト <https://www.fjdynamics.com/> をご覧ください。

プレフェース

- マニュアルの使い方: 本マニュアルの操作方法および効果的な使用方法について説明します。

Legend

 Warning

 Important

 Hints and Tips

 Reference

1. 安全情報

1.1 安全定義

警告、注意、注記は、マニュアルの特に重要な部分を強調するために使用されます。

- 警告: マニュアルの指示に従わなかった場合、操作者または周囲の人が負傷または死亡するおそれがあることを示します。
- 注意: マニュアルの指示に従わなかった場合、製品、その他の機材または周辺エリアが損傷するおそれがあることを示します。
- 注記: 特定の状況において必要な追加情報を示します。

1.2 一般安全注意事項

警告: 製品を使用する前に、以下の警告事項をよくお読みください。

取扱説明書をお読みください: 製品を使用する前に、必ず内容を理解してください。今後の参考のため、本書を保管してください。

監督と指導: 本製品は、安全責任者から使用方法について監督・指導を受けていない限り、子ども、身体・感覚・精神的な能力が不十分な方、または経験や知識が不足している方は使用できません。EUの規定では、8歳以上の子ども、および身体・感覚・精神的な能力が不十分な方または経験・知識が不足している方であっても、安全な使用方法について監督・指導を受け、関連する危険性を理解している場合には使用できます。子どもが本製品で遊ぶことはできません。子どもが監督なしに清掃や使用者メンテナンスを行うことはできません。

操作者の責任: 操作者は、本機器使用中に発生した人身または財産に関するすべての事故または危険について全責任を負います。この責任には、適切な設置、安全な操作、すべての安全機能の保守が含まれます。操作者は、その他の使用者すべてに安全手順の適切な訓練を行い、機器使用中は作業エリアを常に監督しなければなりません。

1.2.1 作業場所の安全

警告: 安全手順を守らなかった場合、けがや財産の損害が生じるおそれがあります。

公共の場所で操作する場合は、作業エリアのすべての入口に警告表示を常に目立つ位置に掲示してください。各表示には「警告! ロボット芝刈機作業中! 立ち入らないでください。子供やペットの監督をお願いします。」と明記してください。これらの表示は、作業中、常に見やすい状態を保ち、芝刈機を使用しないときは取り外してください。

作業を開始する前に、作業エリア内から人（特に子供）およびすべてのペットを完全に退去させてください。芝刈機の作動中は、誰も作業エリアに立ち入らないでください。芝刈機を始動する前に、おもちゃ、レクリエーション機器、ガーデンツール、その他のゴミなどをすべてエリア外に撤去してください。

1.2.2 機器の安全

本機器の安全な操作には、FJDynamics が推奨する部品および FJDynamics 純正バッテリーの使用が必須です。許可されていない部品の使用は、安全機能を損なう可能性があり、保証対象外となります。すべての安全機能および警告ラベルは良好な状態に維持し、破損または判読不能になった場合は交換してください。

電源ケーブルは安全な操作のため、特に注意が必要です。すべてのケーブルは損傷を防ぐため、芝刈りエリア外に配線してください。設置時には、電気安全のため適切な漏電遮断器（RCD）を必ず設置してください。操作者はケーブルに摩耗や損傷の兆候がないか定期的に点検してください。作動中にケーブルが損傷した場合は、直ちに電源コンセントから抜き、正規サービス担当者に連絡して交換を受けてください。損傷または摩耗したケーブルは重大な感電の危険があるため、絶対に使用しないでください。

1.2.3 運用安全

異常な振動が発生した場合、または損傷を発見した場合は、直ちに芝刈機の電源を切ってください。事故またはけがをした場合は、直ちに医療機関を受診してください。メンテナンス作業、詰まりの除去、または点検を行う前に、芝刈機の電源を完全に切り、すべての可動部が完全に停止するまで待ってください。

ブレードディスクその他の可動部が完全に停止するまで、絶対に触れないでください。メンテナンス、特にブレード交換時には、適切な保護手袋を着用し、専用工具を使用してください。これにより、操作者の安全を確保するとともに、機器の損傷を防ぎます。

1.2.4 メンテナンス

警告： メンテナンスを行う前に、必ず製品の電源を切ってください。

定期的なメンテナンス点検は毎週実施してください。これには、ブレードの状態確認、安全機能が正常に作動することの確認、および警告表示が見やすく判読できる状態であることの確認が含まれます。非常停止機能は使用前に毎回点検してください。

芝刈機を使用しないときは屋内で保管してください。保管場所は子供が立ち入れないようにし、芝刈機は保管前に十分に清掃してください。長期保管する場合は、すべての電源接続を取り外してください。

1.2.5 充電ステーションの安全

芝刈機に付属の充電ステーションは本機種専用に設計されています。他の充電方法は使用しないでください。ステーションはすべての隙間要件を満たす場所に設置し、ゴミが溜まらないようにしてください。雷雨の際は、電気部品を保護するため充電ステーションの電源および配線をすべて切断してください。嵐が過ぎた後、配線を慎重に再接続し、接続が適切であることを確認してください。

1.2.6 バッテリーの安全

警告： 芝刈機に付属の充電ステーションは本機種専用に設計されています。他の充電方法は使用しないでください。ステーションはすべての隙間要件を満たす場所に設置し、ゴミが溜まらないようにしてください。雷雨の際は、電気部品を保護するため充電ステーションの電源および配線をすべて切断してください。嵐が過ぎた後、配線を慎重に再接続し、接続が適切であることを確認してください。

純正バッテリー： FJDynamics が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。非純正バッテリーでは製品の安全性を保証できません。

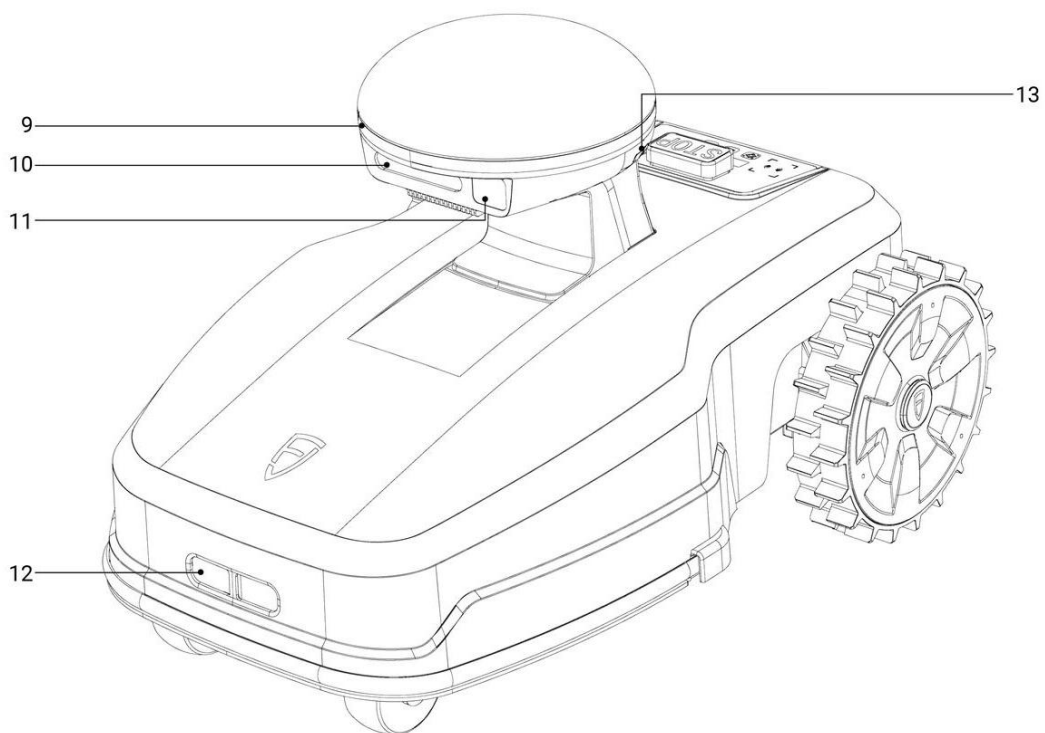
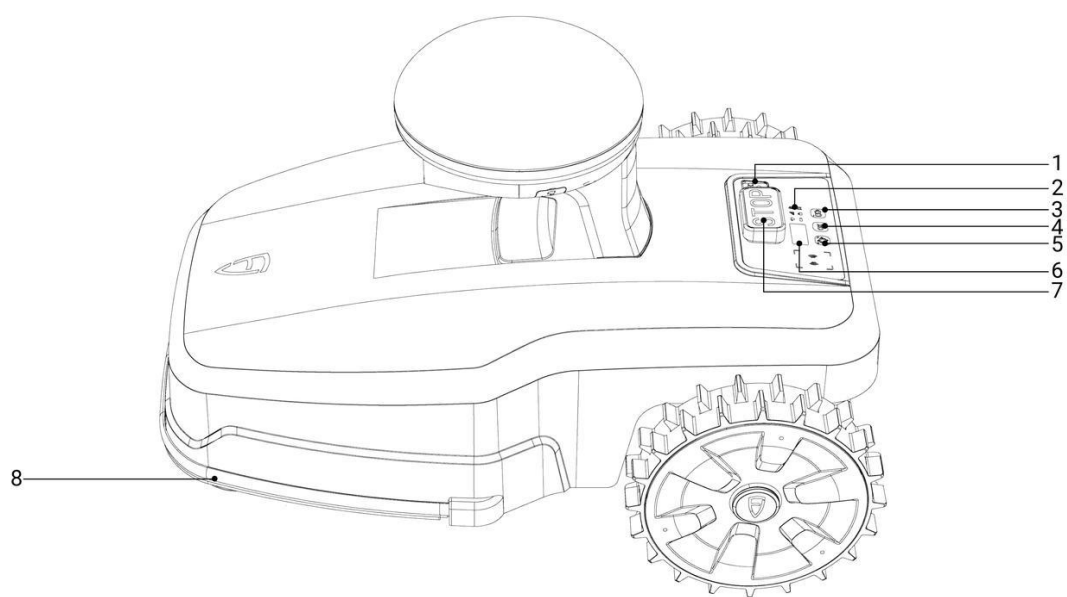
芝刈機は付属の充電ステーションでのみ充電してください。バッテリーの電解液が漏れた場合は、直ちに水または適切な中和剤で患部を洗浄してください。腐食性液体が目に入った場合は、直ちに医療機関を受診してください。

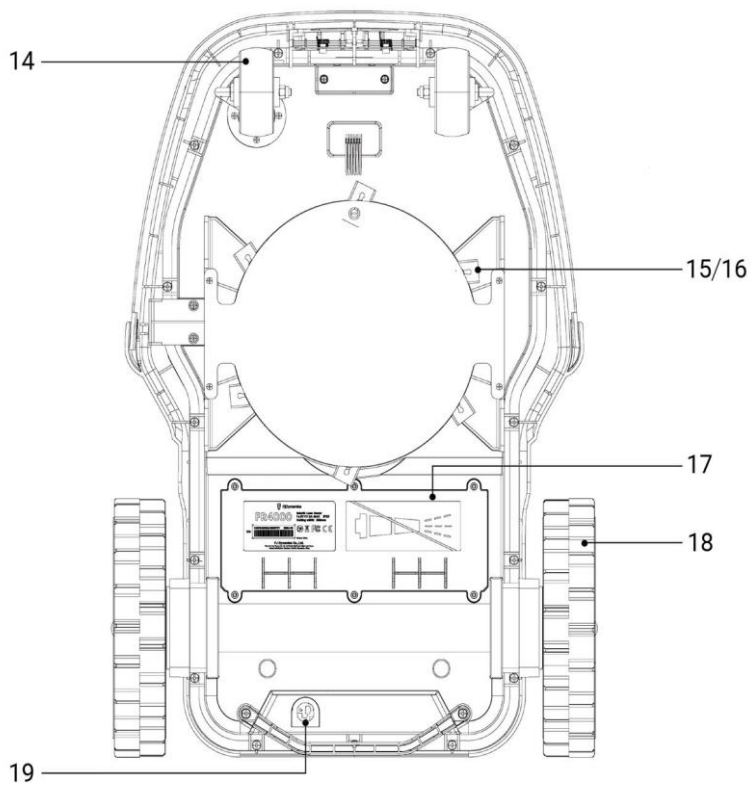
1.2.6.1 メンテナンスと保管

芝刈機を使用しないときは屋内で保管してください。保管場所は子供が立ち入れないようにし、芝刈機は保管前に十分に清掃してください。長期保管する場合は、すべての電源接続を取り外してください。

2. 製品紹介

2.1 芝刈機

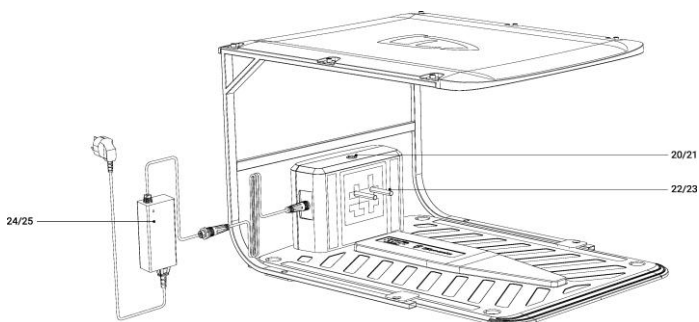




番号	部品名
1	降雨センサー
2	インジケーターエリア
	Wi-Fi インジケーターライト
	4G 信号インジケーターライト
	ブルートゥース インジケーターライト
	電源インジケーターライト
	ロックインジケーターライト
	芝刈機ブレード インジケーターライト
3	充電ボタン
4	確認ボタン
5	芝刈りボタン
6	デジタルディスプレイ

7	非常停止ボタン
8	衝突バー
9	ライトストリップ
10	両眼カメラ
11	単眼カメラ
12	充電インターフェース
13	SIM カードスロット
14	自在車輪
15	刈刃
16	カッティングディスク
17	バッテリー収納部
18	駆動輪
19	電源スイッチ

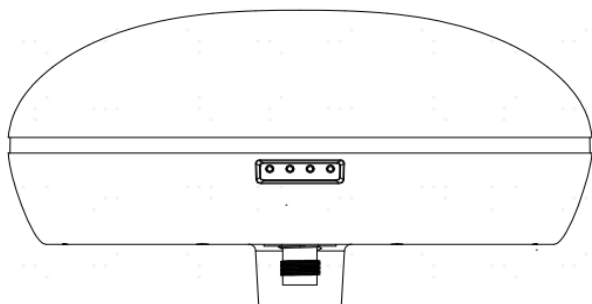
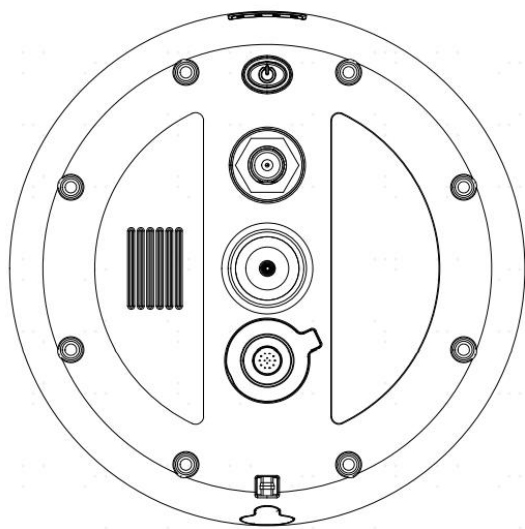
2.2 充電ステーション



番号	部品名
20	トップボタン
21	ステータスインジケータライト： 緑色常時点灯：電源オンでペアリング済み。オレンジ色：ペアリングされていない、または芝刈機の電源がオンになっていません。

	緑色 10Hz 点滅: 起動初期化時に 3 秒間点滅。緑色 1 秒間点滅: ブルートゥースプロトコル充電モード、車両により出力制御
22	充電インターフェース
23	充電電極
24	電源供給部
25	電源アダプター

2.3 ベースステーション



連番	インジケータ名		説明
4	インジケータ ー	電源供給 (緑)	緑色: ベースステーションの電源投入後、常に緑色に点灯します。
		データ (緑)	純緑色: ベースステーションはディファレンシャルデータを送信ませ

		ん。 緑色点滅：ディファレンシャルデータを送信中であり、インジケータライトは送信周波数で点滅していません。
	衛星（赤と緑）	緑色点滅：固定解、RTCM ストリームを送信中です。赤色点滅：星探索異常
	無線Bluetoothユーザー	青色消灯：ESP 通信タイムアウト 青色常時点灯：ESP が正常に動作しています

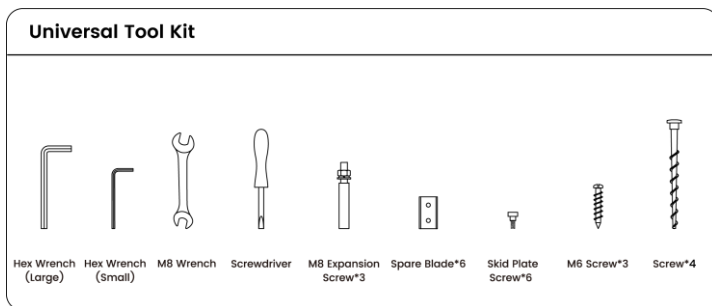
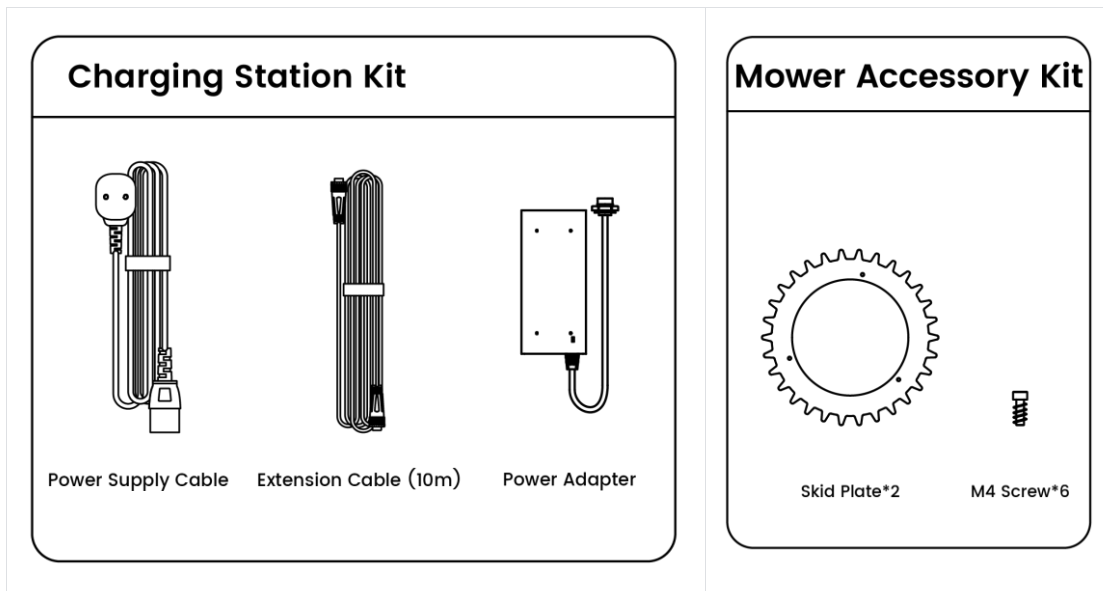
2.4 製品仕様

分類	項目	仕様・対応状況
機械パラメータ	防水・防塵等級	本体：IPX5、ベースステーション：IP67、充電台：IP65
	推奨動作温度	0～35℃
	長期保管温度	0～25℃
	カッター調整範囲	20mm～60mm、10mm～50mm（構造部品による補助時）
	刈り幅	260mm
	バッテリーパック容量	190Wh
	バッテリーパック電圧	16.8V
	充電時間	2 時間
	3 段階歩行速度	最大 0.5m/s
	3 段階カッター	1 速、2 速、3 速

	速度	
機能パラメータ	Wi-Fi・ブルートゥース対応	対応
	4G 通信対応	対応
	衛星測位通信対応	対応
	ネットワーク RTK 対応	対応
	雨滴検知対応	対応
	持ち上げ検知対応	対応
	傾き検知対応	対応
	衝突検知対応	対応（前方衝突）
	カメラ対応	単眼カメラ 1 台、両眼カメラ 1 台に対応
	OTA アップグレード対応	対応
	動作面積	1 つのプロットは 4000 平方メートルを超えない
	視覚フュージョン対応	木の下での視覚フュージョン技術に対応（RTK 遮蔽問題解決）
	作業エリア管理	複数プロット・複数禁止エリア管理、自動充電に対応
	動作角度	計画視点の変更に対応

3. 使用前の準備

3.1 同梱品一覧



4. RTK のインストール

Ntrip に基づくネットワーク RTK サービス番号をお持ちの場合、RTK アンテナを設置しなくても、ネットワーク RTK 測位ソリューションをご利用いただけます。

4.1 ベースステーション RTK アンテナの取り付け

RTK システムの性能を最大限に引き出すため、RTK アンテナは衛星信号を受信しやすい開けた場所に設置してください。RTK 基準局は平らで開けた地面、壁面または屋上に設置できます。通常、RTK アンテナは地面に設置しても問題ありませんが、複数の区画を管理する場合は、安定性とカバー範囲を向上させるため、壁面または屋上への設置を推奨します。



4.1.1 RTK を地面に設置する方法

壁や屋上に取り付けた RTK アンテナが使用環境に適さない場合、弊社の「三脚キット」オプションを別途購入していただけます。詳しい手順については以下をご参照ください。

設置場所の条件

基準局を設置する場所を適切に選定してください。条件は以下の通りです。

1. 周辺に樹木や鉄塔などの障害物がなく、できるだけ開けた場所、かつ高地に RTK アンテナと三脚を設置してください。
2. 土質が固く、設置後に位置が変動しない場所を選んでください。
3. 作業用機械との接触による影響を受けない場所を選んでください。
4. 場所が容易に特定できる場所を選んでください。

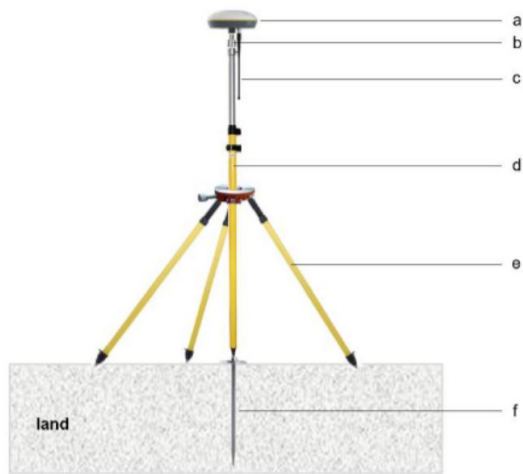
設置ガイダンス

4.1.1.1 受信機の初回設置は、以下の順序で実施することを推奨します。

- a. 選定した区画に基準局測定用杭を地面に埋めて突き固め、杭の天端が地面と同じ高さになるようにマーキングしてください。次回使用時に備え、杭の位置を記録してください。
- b. 受信機、アンテナアダプタ、無線アンテナを取り出し、受信機の無線アンテナとアンテナアダプタを接続してください。受信機を三脚のセンターロッドに取り付け、電源を入れてください。
- c. 三脚センターロッドの底部をマーキングした杭の上に置き、三脚の3本の脚を地面にしっかりと固定してください。3本の脚の長さを調整し、三脚上部の水平器の気泡が中心に来るようにしてください。
- d. 三脚のセンターロッドを適切な高さ（150～170 cm）に調整してください。毎回同じ高さに設定してください。
- e. ソフトウェアアプリを使用して初期基準局の座標を設定し、現在位置の初期座標値を記録してください。
- f. 芝刈り作業を開始してください。

4.1.1.2 Second operation:

まず、最初の作業で設定した目印杭の位置を探し、手順 b と c を繰り返し実施してください。その後、最初に記録した開始座標値を使用して基準局の受信機を起動し、作業を開始してください。



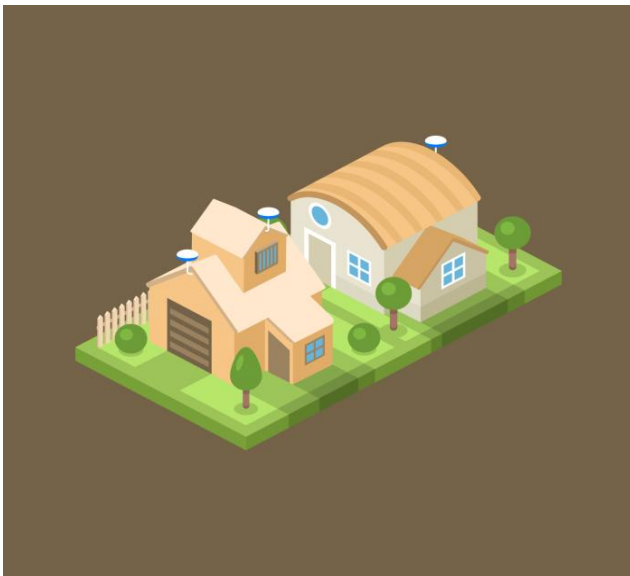
- | | |
|-------------------------------|------------------|
| a V1 receiver | d Alignment pole |
| b Adaptor with 5/8-inch screw | e Tripod |
| c Radio antenna | f Marking pin |

4.1.1.3 受信機の取り外し手順は以下の通りです。

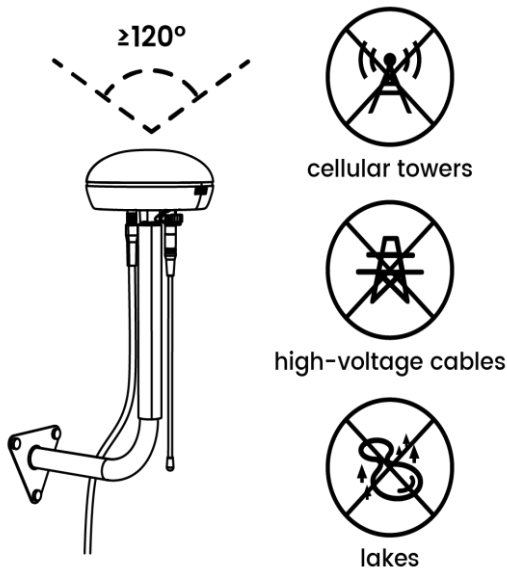
- a. 受信機を取り外し、電源を切ってください。
- b. 無線アンテナとアンテナアダプタを取り外してください。
- c. 三脚をたたんでください。

4.1.2 壁面・屋上への RTK アンテナの取り付け

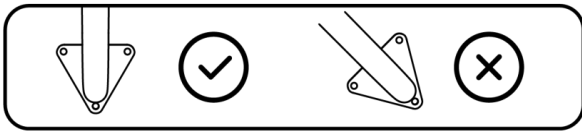
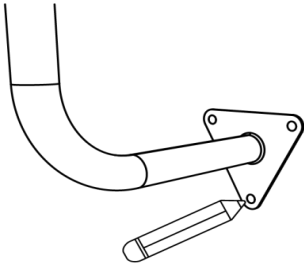
1. RTK アンテナは屋上や壁面など、見通しの良い場所に設置してください。
2. 120°の範囲内で上空に障害物がないことを確認してください。



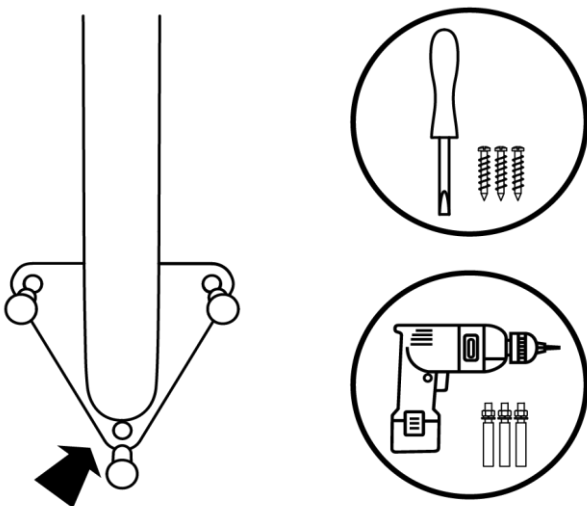
3. RTK アンテナは、基地局、高圧ケーブル、湖などの水源から少なくとも 50 メートル以上離して設置してください。



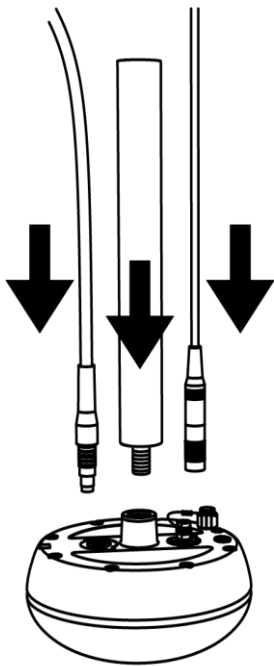
4. 壁面に弯曲取り付けロッドの設置位置をマーキングしてください。
5. 取り付けロッドは**垂直上向き**に設置してください。



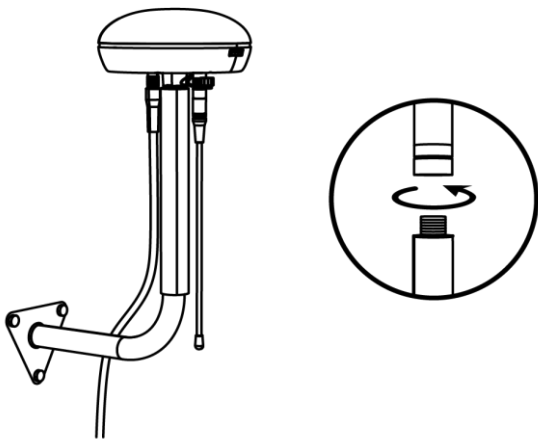
6. 壁の材質に応じて適切なボルトを選択し、マーキングした位置に穴を開けてください。
7. 木製壁の場合：M6 タッピングネジとドライバーを使用してください。
- コンクリート壁の場合：M8 アンカーボルトと電動工具（自备）を使用してください。



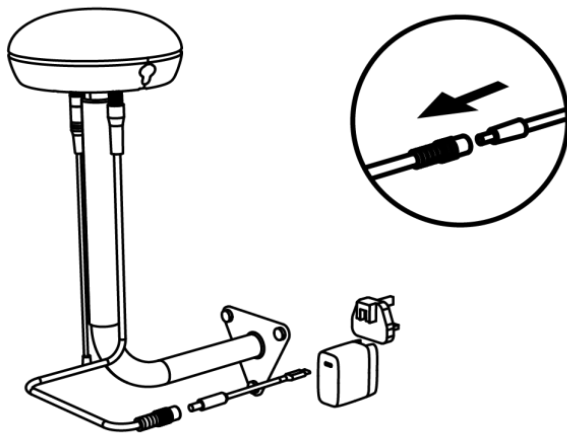
8. RTK 基地局に直吊りロッド、RF アンテナ、電源コード（5m）を取り付けてください。



9. 2本の取り付けロッドをしっかりと固定してください。



10. DCUSB-C ケーブル、アダプター、電源アダプタープラグをコンセントに差し込み、RTK 基地局を起動してください。

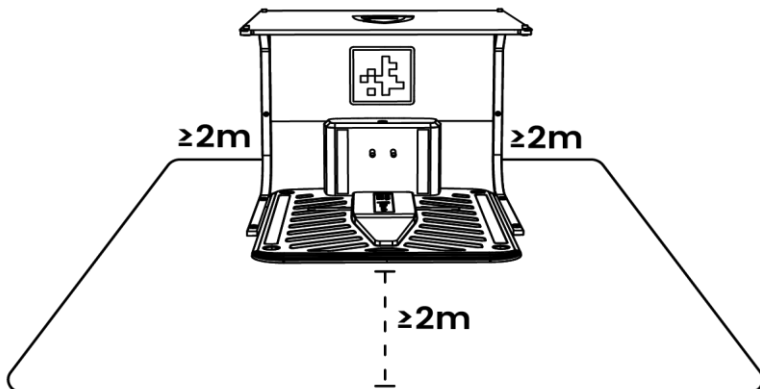


5. 芝刈り機と充電ステーションの取り付け

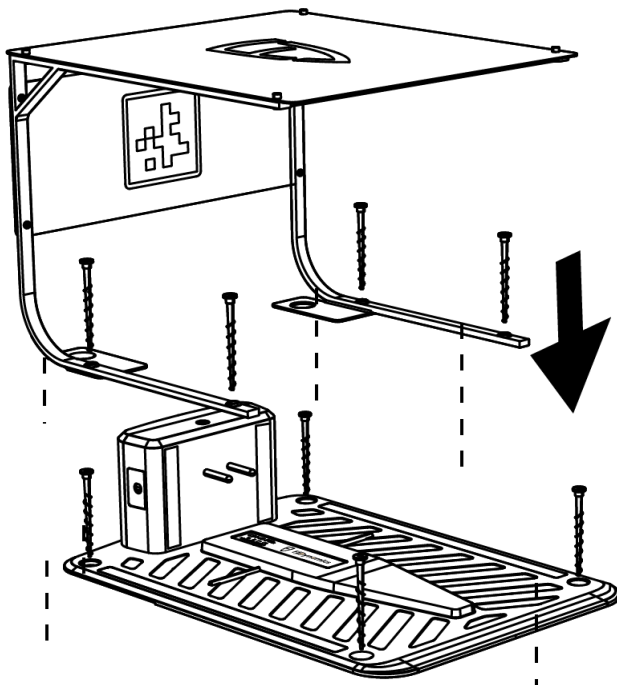
1. 充電ステーションは平らな場所に設置してください。充電ステーションの前方少なくとも2メートル

ルは水平で障害物がなく、坂や斜面、くぼみ、穴などがないようにしてください。

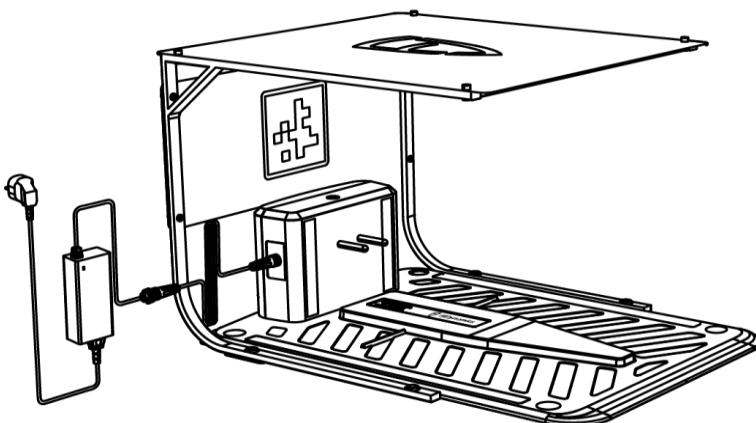
2. 充電ステーション台座の下の芝の高さが **5 センチメートル (約 2 インチ)** 以下であることを確認し、周囲に障害物がありませんようにしてください。



3. 充電ステーションとガレージを地面にボルトで固定してください。



4. 電源アダプタ、10メートル延長コード、電源コードを接続し、コンセントに差し込んでください。



5. 自動芝刈り機のドッキング

充電ステーションと RTK アンテナの設置が完了したら、芝刈りロボットを取り出し、以下の手順で充電ステーションに接続してください。

- 充電ドックのボタンを押し、インジケータランプが緑色で速く点滅することを確認してください。これは直接充電モードに入ったことを示します。
- 自動芝刈り機を充電ステーションに接続し、電源が入るのを待ってください。
- 自動芝刈り機の電源が入ったら、本体のスイッチをオンにしてください。

6. 取扱説明書

6.1 準備作業

- ご使用前に安全上の注意事項をお読み、理解してください。
- RTK 基地局と充電ステーションが固定されていることを確認してください。
- 周辺に良好な Wi-Fi またはモバイルホットスポットの電波があることを確認してください。
- スマートフォンの Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。

6.2 アプリケーションのダウンロード

FJDynamics はアプリケーションと連携して動作するように設計されています。最初にアプリケーションをダウンロードしてください。下記の QR コードをスキャンするか、App Store (iOS) または Android ストアで「FJD Landscaping」を検索してアプリケーションを入手できます。



6.3 FJDynamics のアカウントを登録し、ログインしてください。

FJDynamics のアカウントをお持ちの方は、ログインのみを行ってください。

6.3.1 登録およびログイン

アプリケーションをダウンロードした後、以下の手順に従ってアカウントを作成してください。

6.3.1.1 メールアドレスで登録

1. 「今すぐ登録」をクリックしてください。

2. メールアドレスを入力してください。
3. 「送信」ボタンをクリックすると、入力したメールアドレスに認証メールが送信されます（届かない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください）。
4. 認証コードを入力してください（認証コードの有効期間は10分間です。再度「送信」ボタンをクリックすると、新しい認証メールを受信できます）。
5. パスワードを設定してください（パスワードは8文字以上22文字以下で、小文字の英字と数字をそれぞれ1文字以上含めてください）。
6. 利用規約およびプライバシーポリシーを確認してください。
7. 「アカウント作成」をクリックすると、登録が完了しログインされます。

9:52

<

REGISTER

For account security, set a login password and enter verification code. Your password must be at least 8 characters long and contain numbers, letters, and special characters.

Email address

Enter Password

Verification code Send

Create account

I understand [User Agreement](#) and [Privacy Policy](#)

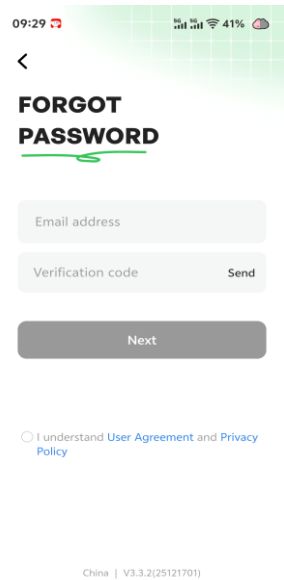
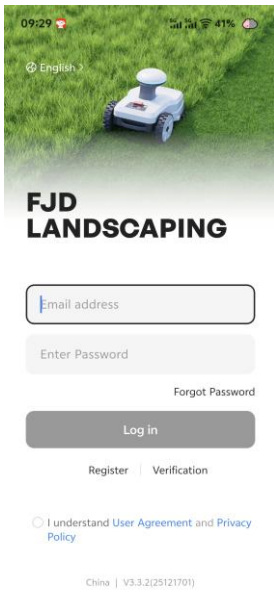
China | V3.3.5(26012003)

6.3.2 ログインのみ

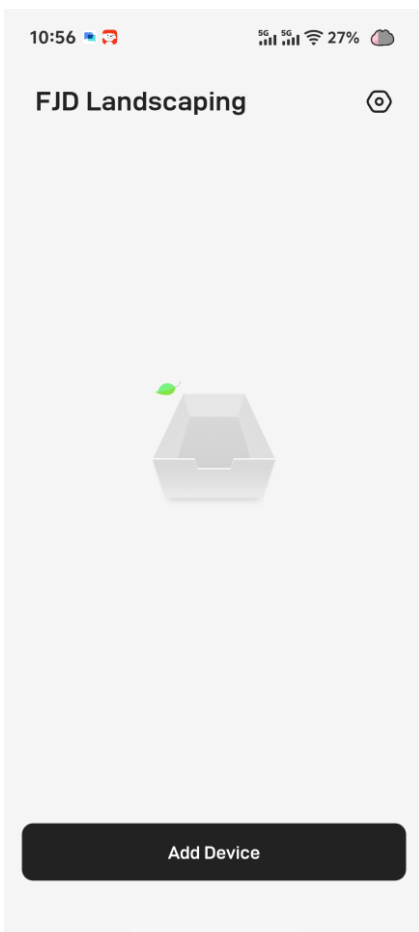
「メールアドレス+パスワード」または「メールアドレス+認証コード」を入力して、直接ログインできます。

その後、利用規約とプライバシーポリシーを確認し、「ログイン」をクリックするとシステムのメイン画面にアクセスできます。

アプリケーションの言語を切り替える場合は、ログイン画面の左上をクリックしてください。



6.4 施設管理



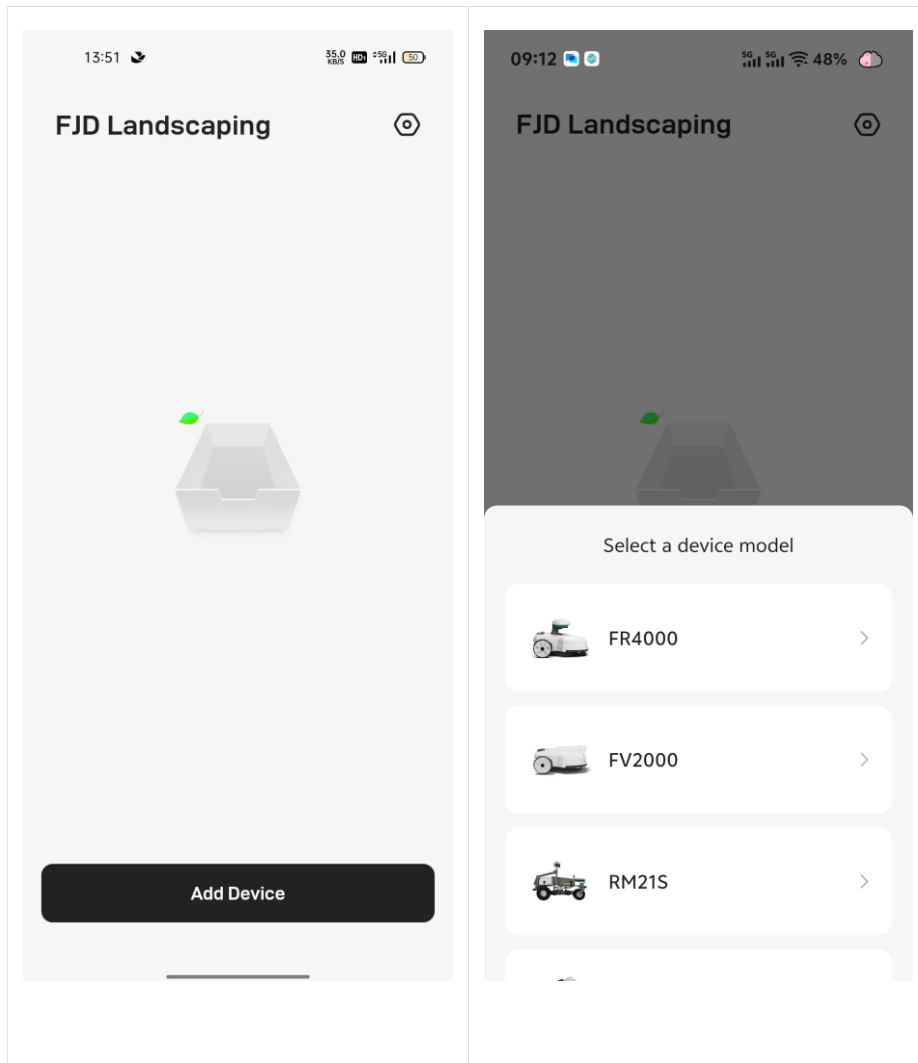
6.5 FR4000 芝刈りロボットの追加



注意: Bluetooth 機能が正常に動作するよう、スマートフォンの Bluetooth をオンにし、スマートフォンと芝刈りロボットの距離が 3m 以内であるこ

とを確認してください。

1. 「デバイスを追加」ボタンをクリックしてください。
2. 選択肢の中から「FR4000」を選択してください。
3. 画面の指示に従って、ロボットの設定を完了してください。



6.5.1 芝刈りロボットをネットワークに接続



注意:

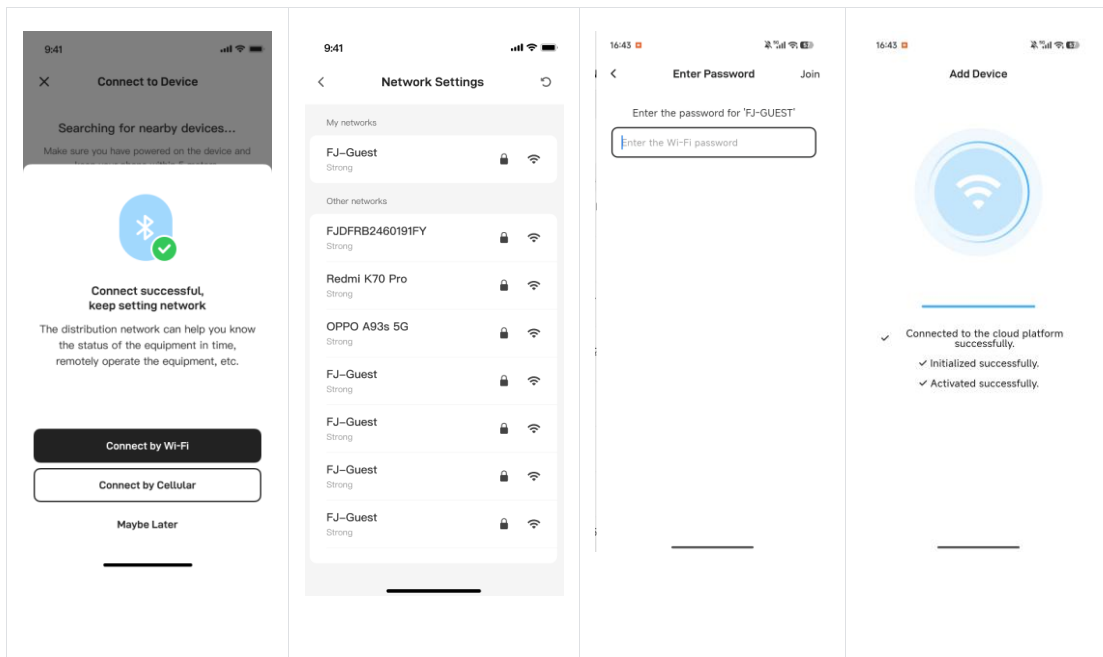
FR4000 芝刈りロボットは 2.4GHz Wi-Fi ネットワークのみ対応していません。

iOS 端末をご利用の場合、芝刈り機はスマートフォンが接続している Wi-Fi ネットワークにしか接続できません。最初にスマートフォンを Wi-Fi に接続し、その後、芝刈り機を同じ Wi-Fi ネットワークに接続してください。

初めてデバイスを追加する際、スマートフォンを **Bluetooth** で車体に接続するよう案内され、ネットワーク設定プロセスが開始されます。

- Wi-Fi ネットワーク名を入力または選択してください。

- Wi-Fi パスワードを入力してください。
- 「完了」をクリックしてください。

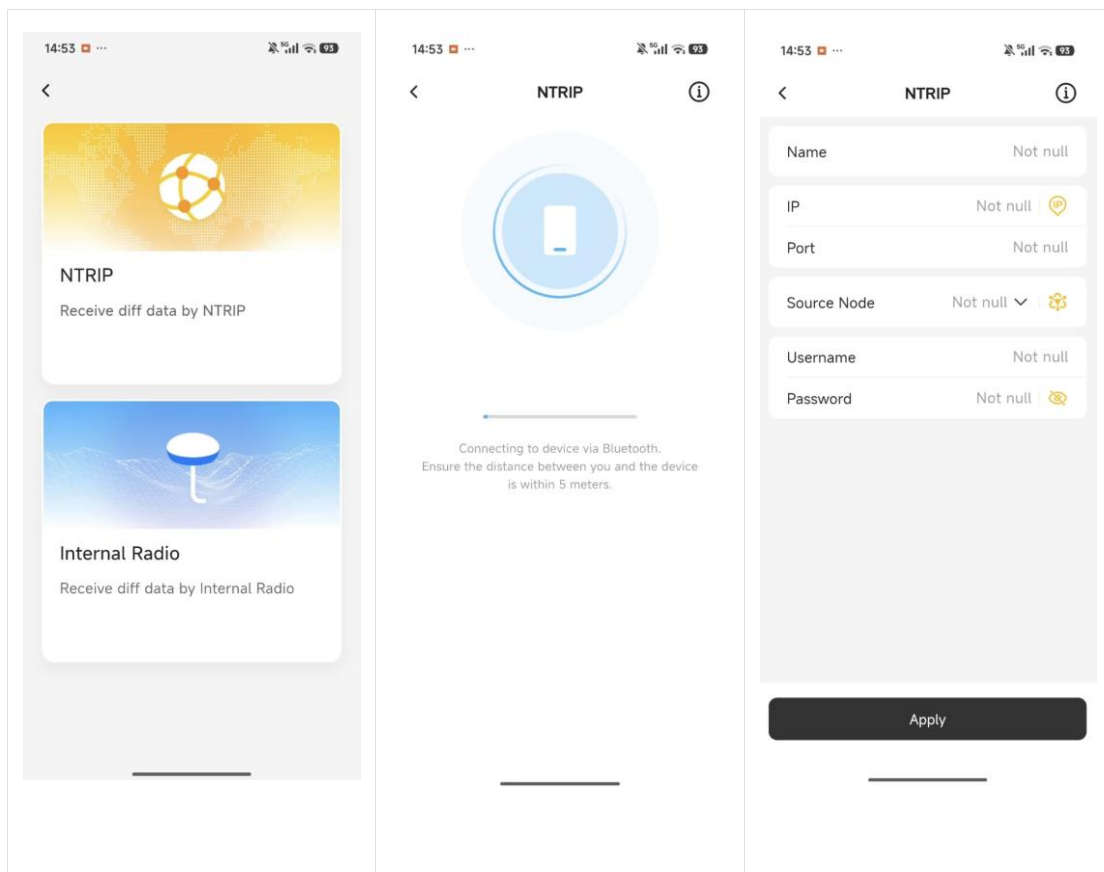


6.5.2 RTK 芝刈り機の配置

芝刈り機は 2 種類の RTK 基地局配置方法に対応しています。Ntrip（ネットワーク RTK）または内部無線（ローカル基地局）

6.5.2.1 RTK 基地局による Ntrip ネットワーク配置

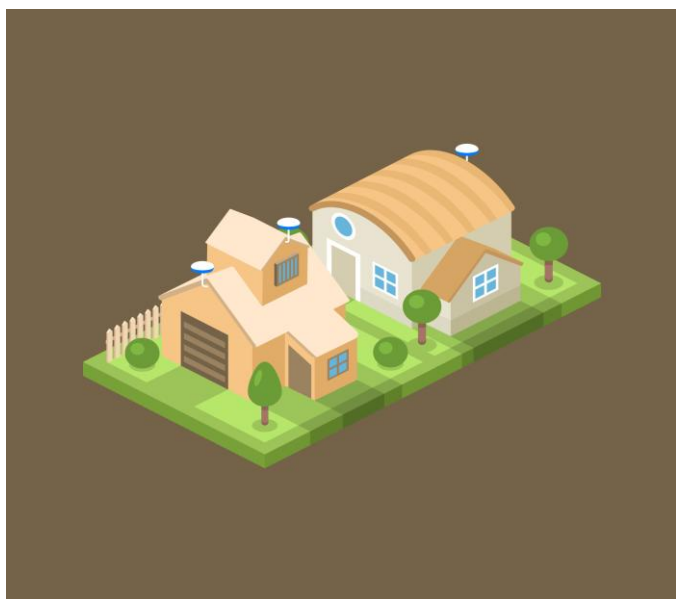
1. RTK 配置時に **Ntrip** を選択してください。
2. 配置手順書をお読みください。
3. 必要な **Ntrip ネットワーク RTK 設定情報**を入力してください。
4. 基地局機能の配置が完了するまでお待ちください。



6.5.2.2 ローカル RTK 基地局の配置

RTK 基地局の設置・固定・電源投入を行い、スマートフォンが Bluetooth で芝刈りロボットに接続されていることを確認してください。

1. 基地局の設置場所を選択してください。

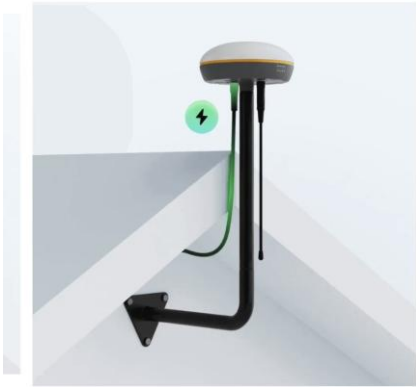


2. 準備作業が完了したことを確認したら、「開始」をクリックしてください。

16:51



< Set Up The RTK Base Station Skip



Ensure the RTK base station is powered on.



Start

3. 基地局機能の配置が完了するまでお待ちください。

9:41



Deploy RTK Station



- ✓ Successfully initialized
- ✓ Successfully located
- Waiting for fixed solution

使用中に基地局の位置を変更したい場合は、「アクセサリ一覧」 - 「RTK 基地局」欄から RTK 基地局の再配置を行ってください。RTK 基地局を再配置すると、既存の地図情報が先に削除されます。削除前にバックアップを取得してください。

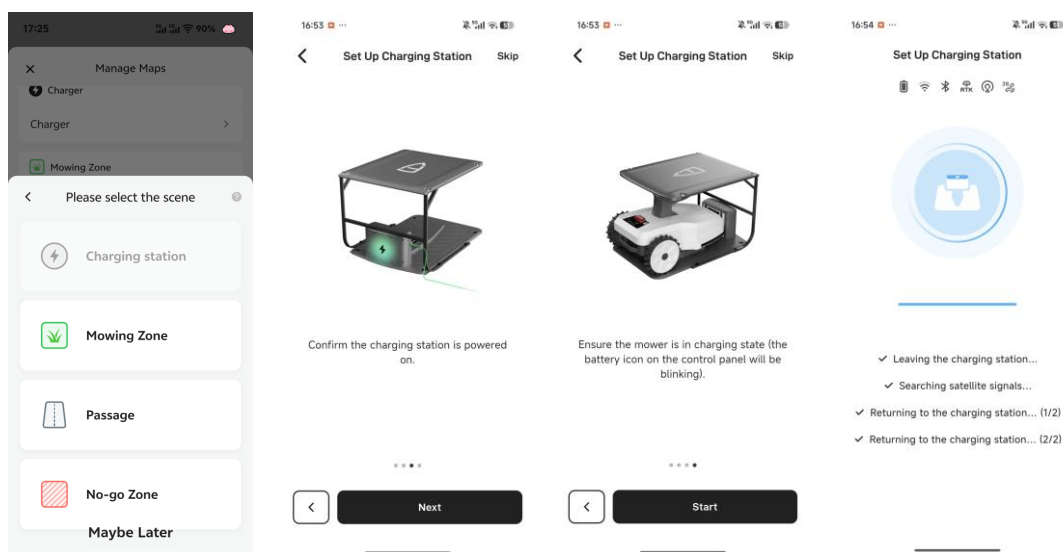
6.5.2.3 充電ステーションの配置

RTK 基地局の設置・電源投入、および基地局の設置設定が完了していることを確認してください。

スマートフォンが Bluetooth で自動芝刈り機に接続されていることを確認してください。

自動芝刈り機が配置済みの充電ステーションに位置し、ドッキングされていることを確認してください。

1. 充電ポイントを選択してください。
2. 車両を充電状態にしてください（車両が充電中として検出されます）。
3. 準備作業が完了したことを確認したら、「開始」をクリックしてください。
4. 充電ステーション機能の配置が完了するまでお待ちください。

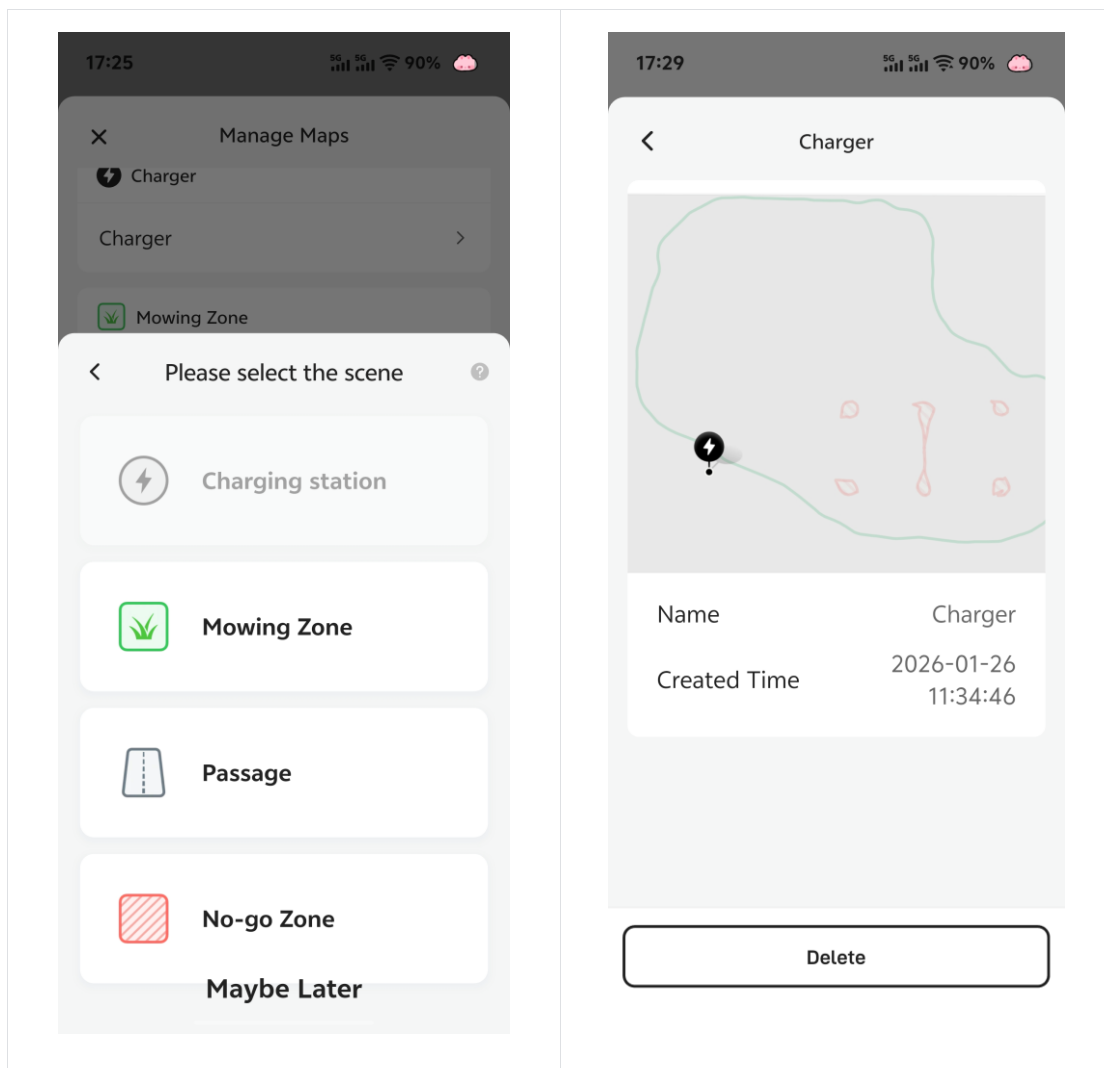


6.5.2.4 充電ステーションの交換

- 充電スタンドが故障し交換が必要な場合は、「設定」→「アクセサリ一覧」→「充電ステーション」を選択し、QR コードを読み取ってキャリブレーションするか、SN を入力することで充電スタンドを切り替えることができます。

6.5.2.5 充電スタンドの削除

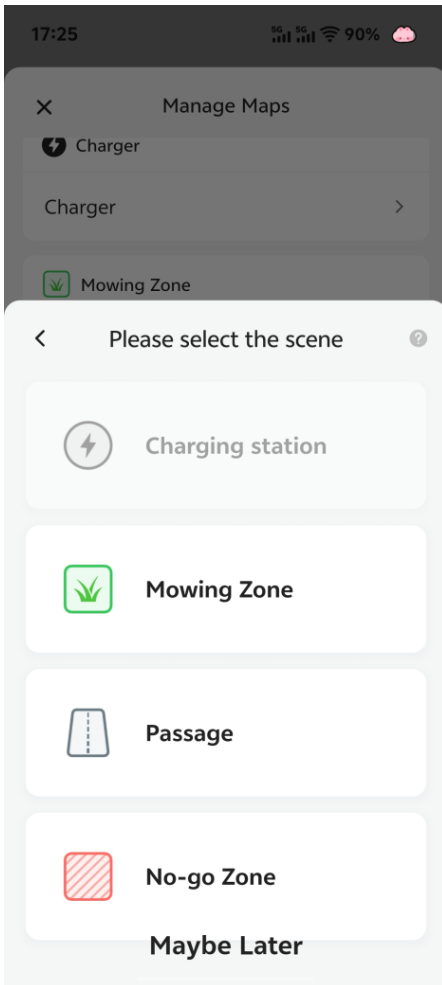
- 充電ステーションを再配置する必要がある場合、地図管理で充電スタンドを削除した後、充電スタンドと区画をつなぐ連絡通路を再作成してください。



6.5.2.6 地図管理

- 現在の地図要素種別
 1. 充電ステーション
 2. 草刈りエリア
 3. 通路
 4. 進入禁止エリア

この4種類の要素作成に順序はなく、あとから組み合わせて追加することができます。



注意:

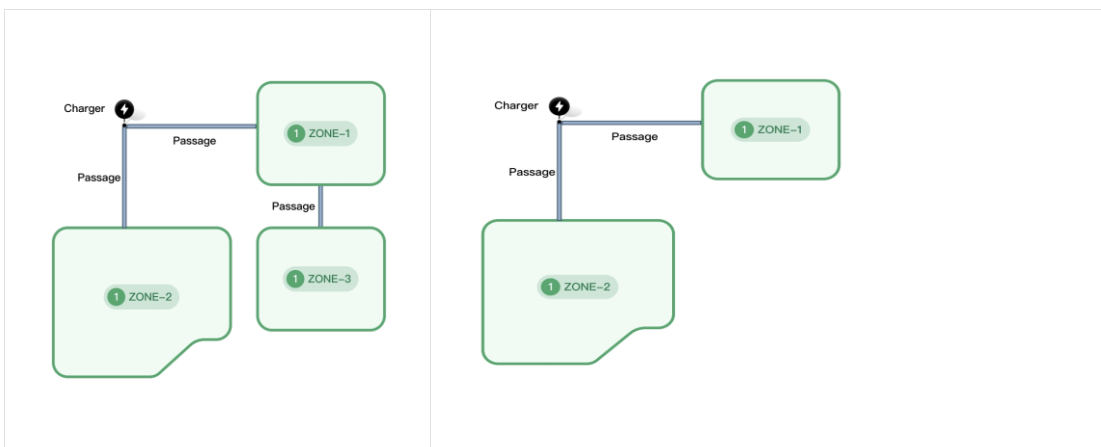
1. 区画と充電スタンドは連絡線で結び、閉ループを形成する必要があります。
2. 充電スタンドがすでに区画内にある場合でも、必ず1つ以上の区画とつながる通路が必要です。
3. フル要素の地図作成手順は以下となります: 充電ステーション作成 → 区画作成 → 連絡線作成 → 進入禁止エリア作成。

- 複数区画の運用例

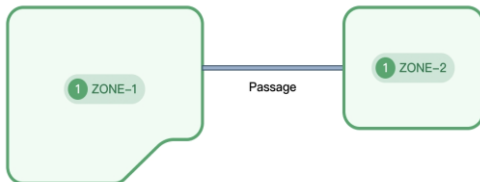
例:

充電スタンド → 連絡線 1 → 区画 1 → 連絡線 3 → 区画 3 → 連絡線 2 → 区画 2

充電スタンド → 連絡線 1 → 区画 1 → 連絡線 2 → 区画 2



- 単一区画のタスク。この区画には充電スタンドおよび連絡線がなくともかまいません。ただし、ロボットは**必ず区画内から始動**させてください。タスク完了後は、区画の開始地点に戻り、充電スタンドへは戻りません。



- **経路計画に失敗した場合はどうすればよいですか？**
 - 孤立した区画（島状の区画）が存在しないか確認してください。
 - 充電スタンドに通路が作成され、いずれかの区画に接続されているか確認してください。
 - すべての区画が通路で充電スタンドに接続され、完全な経路が形成されているか確認してください。

6.5.2.7 区画作業エリアの作成

1. 地図作成前の注意事項:

- 地図作成前に、芝生上のゴミ、落ち葉の塊、おもちゃ、電線、石などの障害物を片付けてください。芝生上に子供や動物がいないことを確認してください。
- 自動芝刈り機の状態が良好で、測位機能が正常に動作することを確認してください。
- 自動芝刈り機が塀、フェンス、溝などの障害物に沿って移動する際は、**15センチメートルの距離**を確保することをおすすめします。
- 地図作成中は、芝刈りロボットに同行し、**3メートル以内の距離**を保ってください。これによりBluetooth接続を安定させ、現場の状況に速やかに対応できます。
- 芝生の境界線に沿って線を描いてください。
- プールや湖の縁、特に水辺の斜面には境界を作成しないでください。

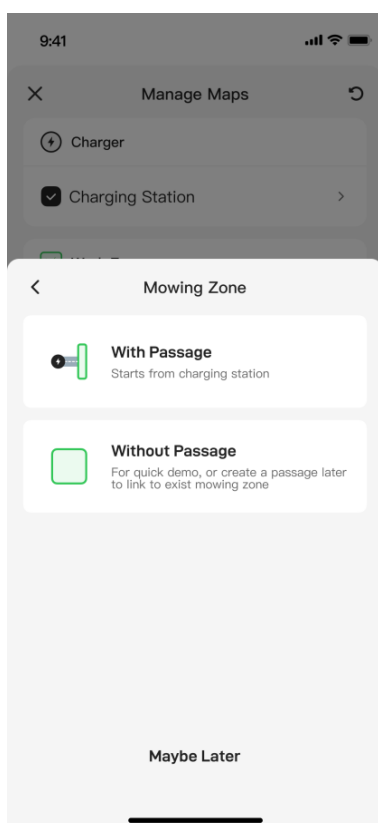
2. 区画には2種類があります。

a. B. 通路付き区画

- i. この区画は充電スタンドから出て、連絡線を作成して別の区画へ向かいます。
- ii. 1つの工程で**連絡線と区画の2つの要素**を作成します。

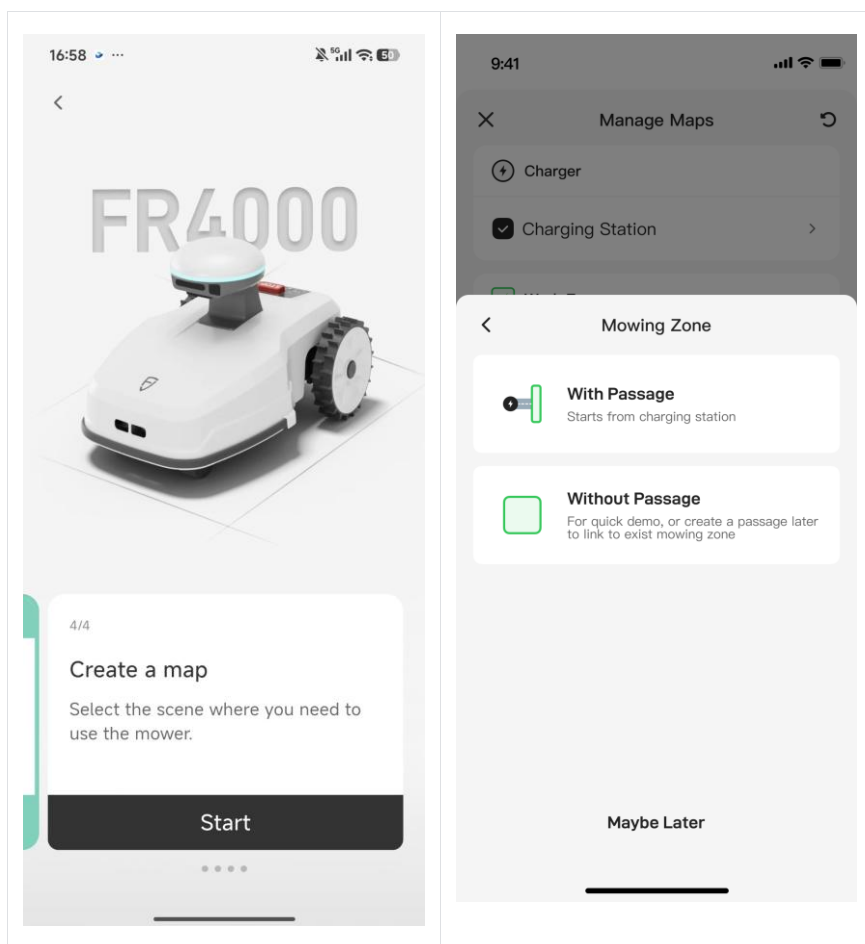
b. A. 通路なし区画

- i. この区画は**通路のない独立区画**であり、今後、連絡線を追加して充電スタンドまたは他の区画と接続する必要があります。



3. 通路付き区画の作成方法

- a. 通路付き草刈りエリアを選択してください。

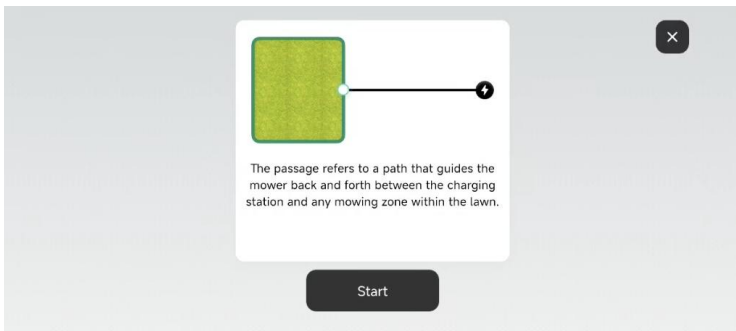


4. 自動芝刈り機が自動的に充電ステーションから出発します。

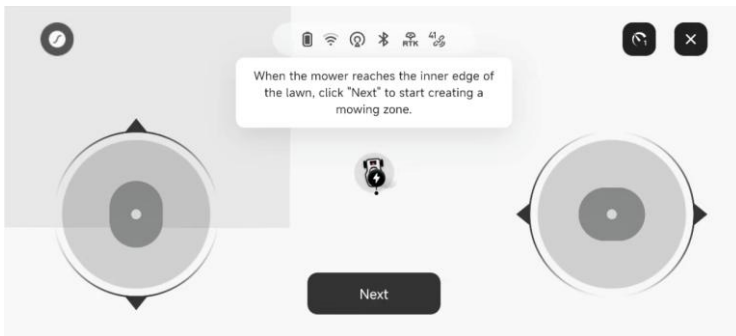


5. 芝刈りロボットが停止した後、アプリケーションで通路を設定できます。

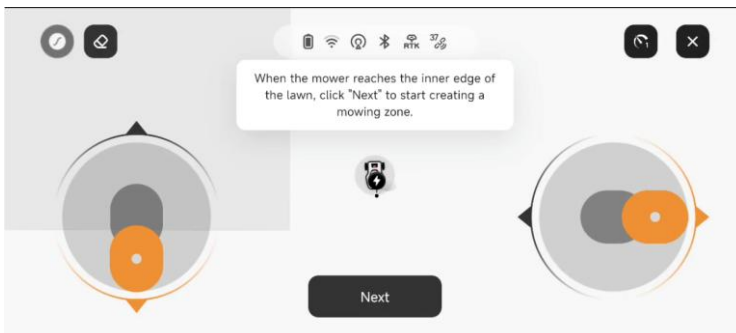
- 通路とは、自動芝刈り機が充電ステーションから作業エリアへ移動するための経路のことです。実際の運用時にはこの経路を辿るため、走行可能な経路であることを確認してください。



- 「スタート」をクリックし、ジョイスティックで芝刈りロボットを目的の作業エリアの端まで遠隔操作してください。

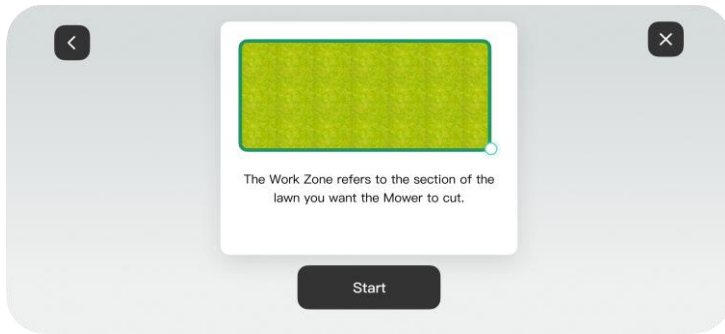


- 「次へ」をクリックして通路を保存し、草刈りエリアの作成を続行してください。

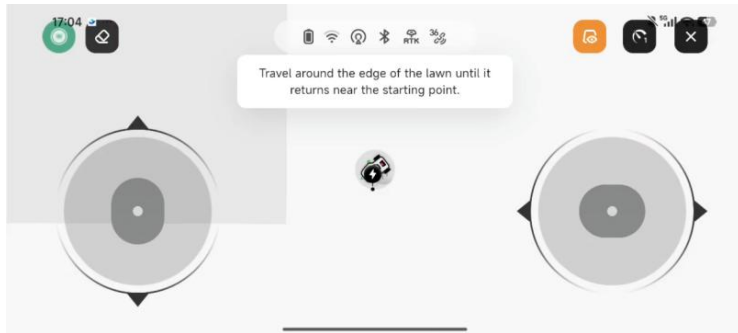


6. 経路を保存した後、アプリケーションで草刈りエリアを作成できます。

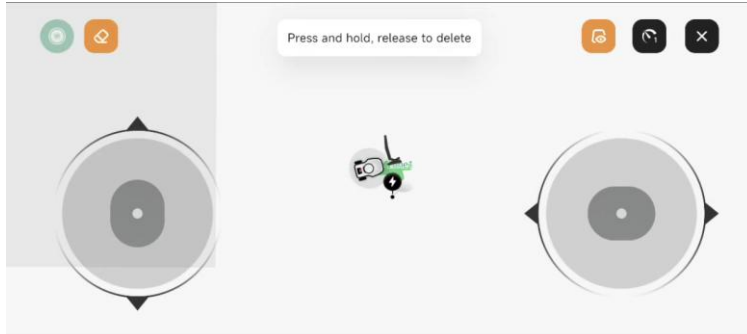
- 「スタート」ボタンをクリックし、ジョイスティックで芝刈りロボットを目的の芝生の縁に沿って遠隔操作し、芝生の境界線を作成してください。



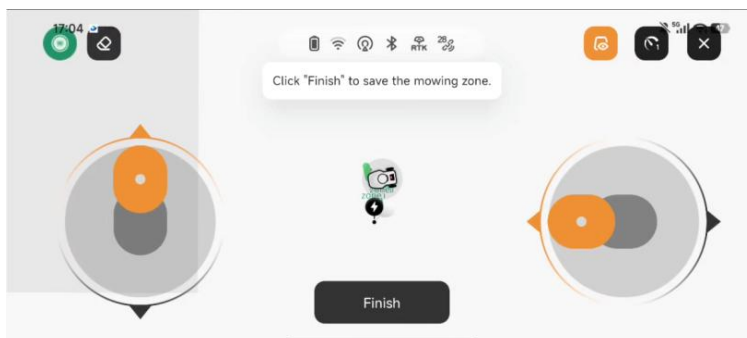
- 実線は作成した境界線、破線はスタート地点まで戻るためのガイド線を示します。



- 芝刈りロボットをスタート地点まで戻し、「完了」をクリックしないと草刈りエリアは作成されません。
- 必要な場合は消去アイコンをクリックすると、芝刈りロボットが作成した経路に沿って後退し、草刈りエリアの境界を消去して再描画できます。



- 芝刈りロボットをスタート地点まで移動させ、{完了}ボタンをクリックして作業エリアを保存してください。

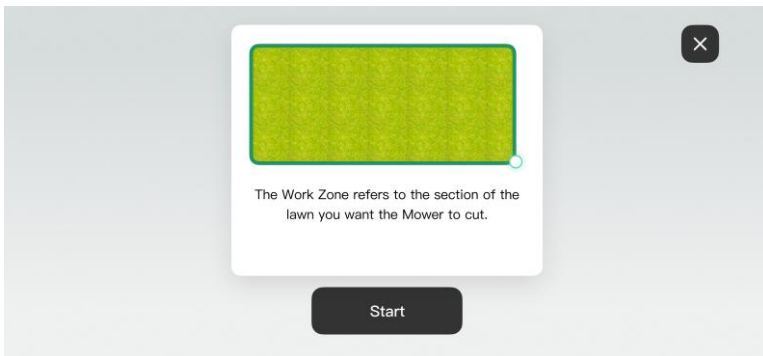


- 作業エリアに名前を付けてください。
7. 通路なし区画の作成方法
- 通路なしを選択
 - 自動芝刈り機が自動的に充電ステーションから出発します。

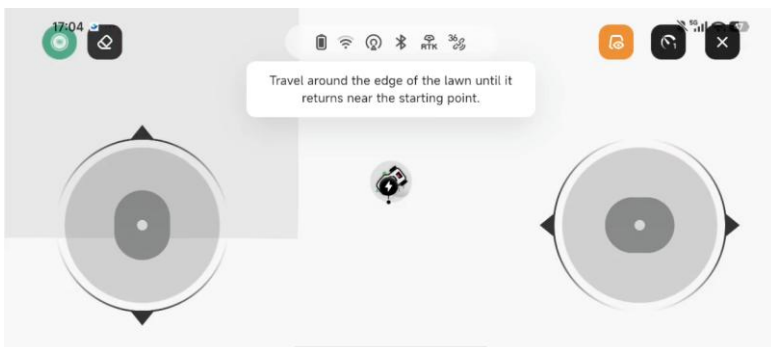


8. アプリケーションで草刈りエリアを作成します。

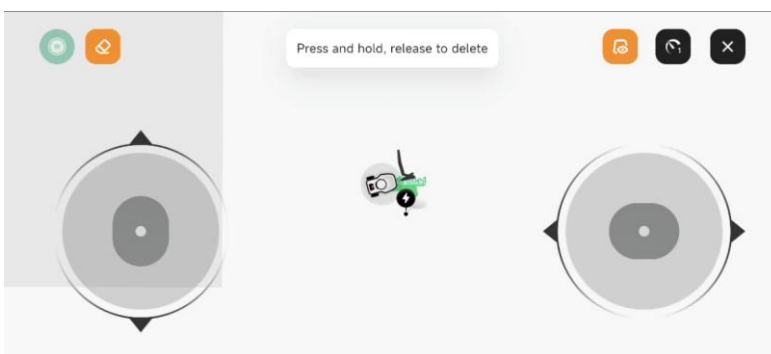
- {スタート} ボタンをクリックし、ジョイスティックで芝刈りロボットを目的の芝生の縁に沿って遠隔操作し、芝生の境界線を作成してください。



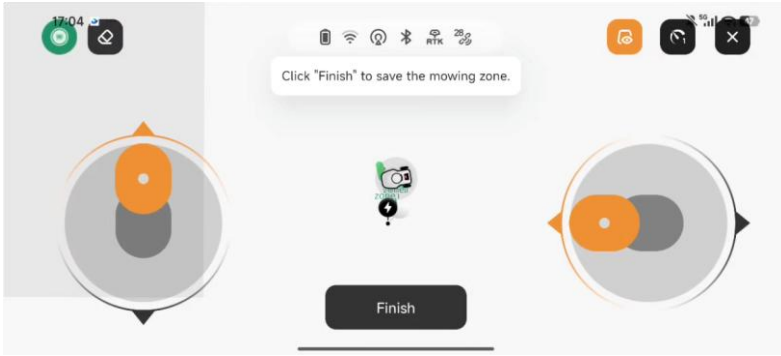
- 実線は作成した境界線、破線はスタート地点へ戻るためのガイド線を示します。



- 芝刈りロボットをスタート地点まで戻し、{完了}をクリックしないと草刈りエリアは作成されません。
- 必要な場合は消去アイコンをクリックすると、芝刈りロボットが作成した経路に沿って後退し、草刈りエリアの境界を消去して再描画できます。



- 芝刈りロボットをスタート地点まで移動させ、{完了}ボタンをクリックして作業エリアを保存してください。



- 作業エリアに名前を付けてください。

6.5.2.8 Build forbidden area

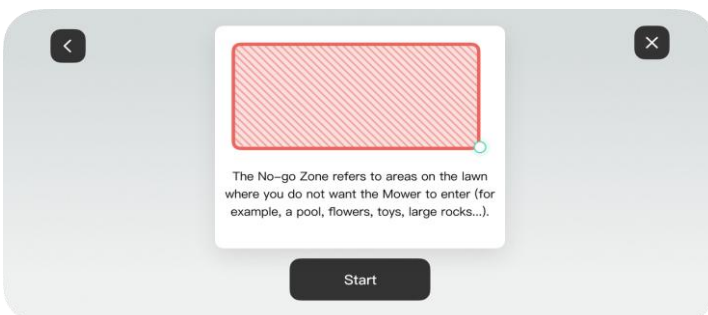
禁止エリアには、プール、花壇、木、根、溝、その他芝生上の障害物などが含まれます。自動芝刈り機は、これら指定されたエリアでの芝刈りを回避します。

禁止エリア作成推奨箇所:

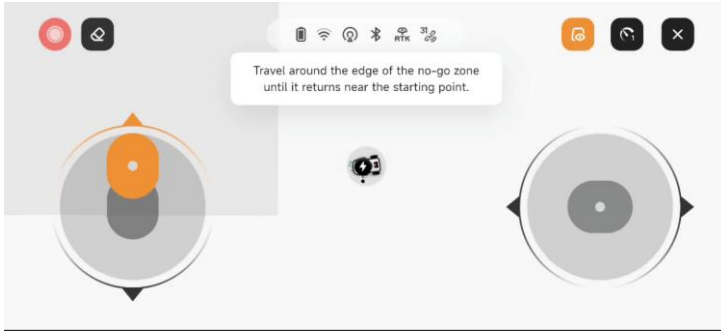
1. 車体前部より低い障害物
2. 直径 1 メートルを超える障害物
3. 貴重な花木
4. 直径 10cm 未満の細い柱
5. 細かく柔らかい砂利エリア
6. トランポリンの U 字型ブラケット

作成手順:

1. 自動芝刈り機の電源が入っていること、充電ステーションに位置していること、正常な動作状態であること、位置解が固定されていること、非常停止ボタンがオフになっていること、バッテリー残量が 50%より高いことを確認してください。
2. 地図管理ページで{新規}をクリックします。
 - {進入禁止エリア}をクリックし、アプリケーションを通じて芝刈りロボットを遠隔操作し、禁止エリアを作成します。
 - アプリケーションを使用して、自動芝刈り機を指定禁止エリアの端まで誘導します。
 - {スタート}ボタンをクリックし、ジョイスティックで芝刈りロボットを遠隔操作し、進入禁止エリアの境界線を作成してください。



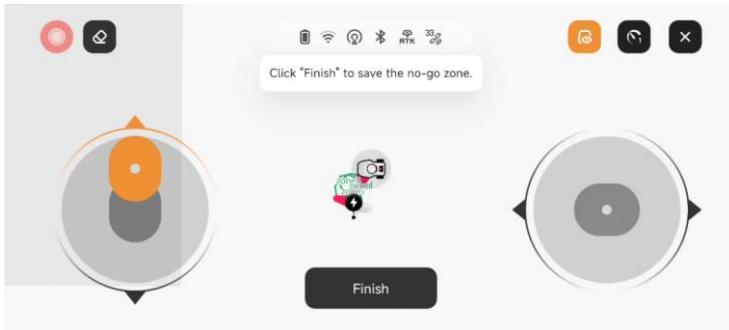
3. 実線は作成した境界線、破線はスタート地点へ戻るためのガイド線を示します。



芝刈りロボットをスタート地点まで戻した場合に限り、禁止エリアが作成されます。

4. 必要な場合は消去アイコンをクリックすると、芝刈りロボットが作成した経路に沿って戻り、遡った禁止エリアの境界を消去します。

5. 芝刈りロボットをスタート地点まで移動させ、{完了}ボタンをクリックして禁止エリアを保存してください。

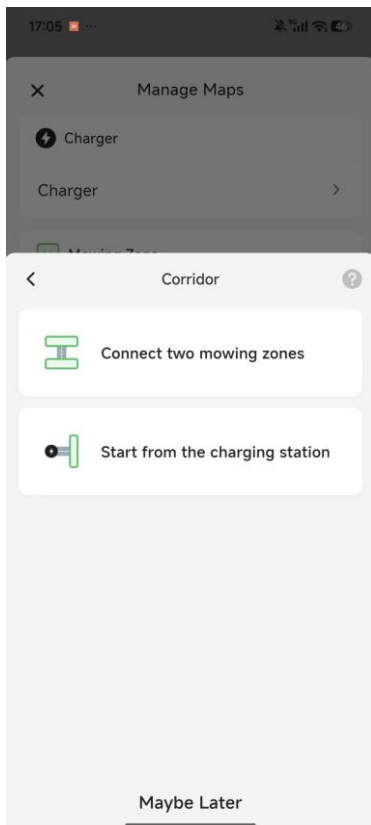


6.5.2.9 連結線の作成

A. 区画と区画を連結線で接続

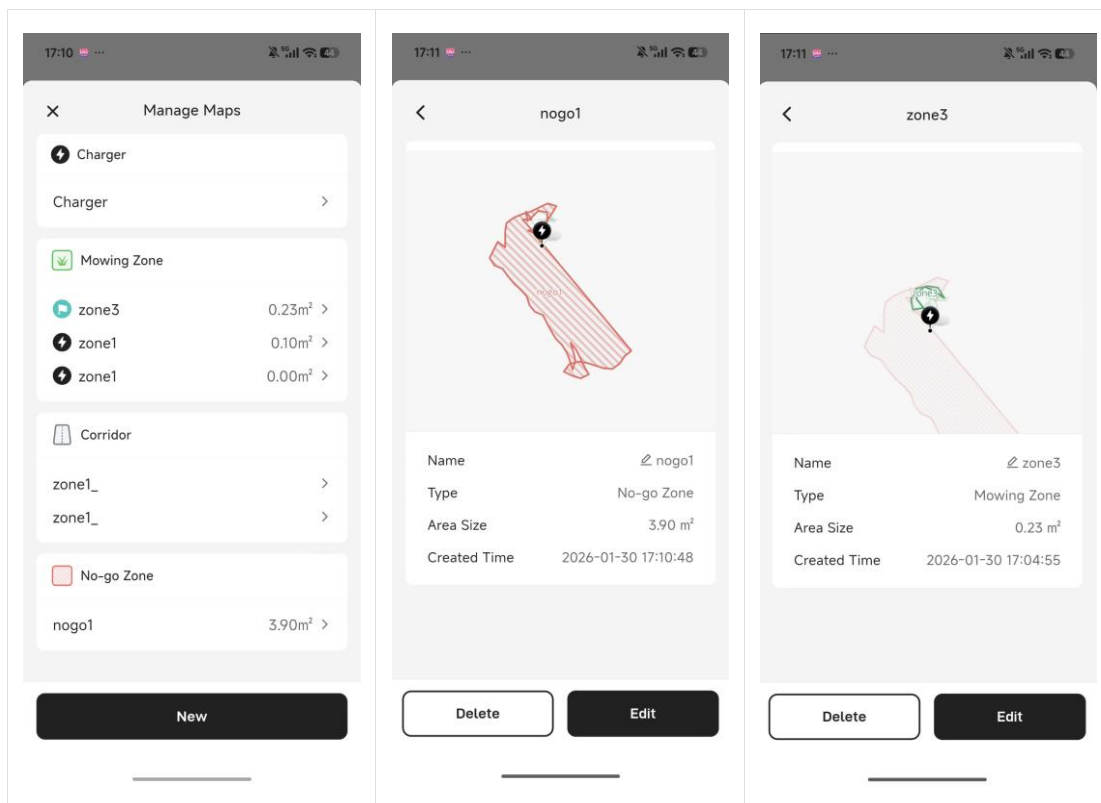
B. 充電スタンドと区画を連結線で接続。充電スタンドから始めて、車体が充電を開始できるようにしてください。

注意：連結線の始点と終点は、区画内に 0.5m 以上入り込んでいる必要があります。これにより始点と終点の設定が完了します。



6.5.2.10 地図を削除

- 地図を削除する場合：地図管理ページで、目的の作業エリア、進入禁止エリア、または充電ステーションをクリックし、{削除}、{OK}の順にクリックしてください。
- 充電ステーションを削除すると、充電ステーションに接続されている連結線も削除されます。

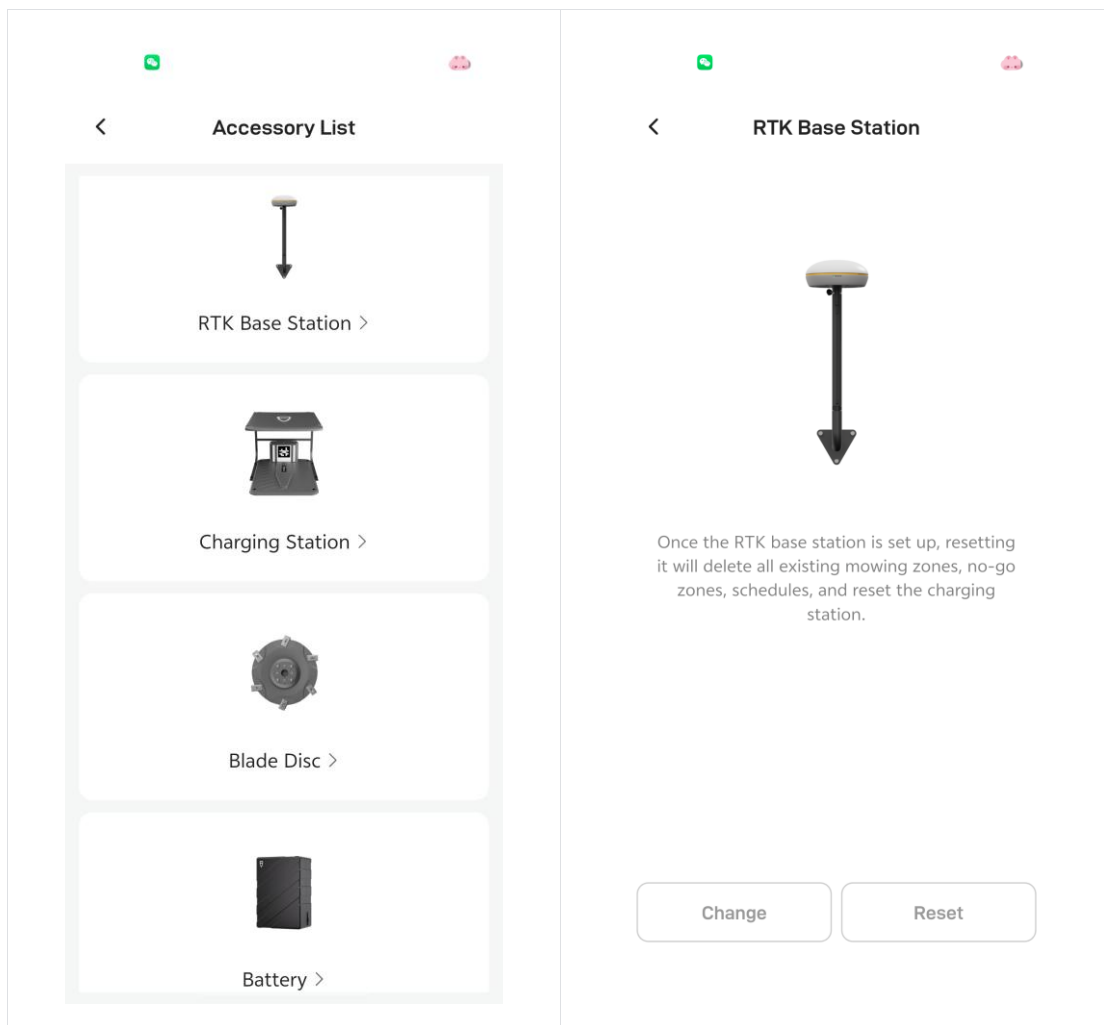


6.5.2.11 RTK 基地局をリセットする

地図作成後は RTK アンテナを移動させないでください。移動させると、実際の作業エリアと作成済み

の作業エリアにずれが生じる場合があります。

どうしても RTK アンテナの位置を変更する必要がある場合は、移動後に基地局を削除して再設定し、すべての区画データを再作成してください。



6.5.2.12 一時停止・再開：クイックデモ

1. ネットワーク接続
2. NTRIP 接続
3. 通路なしで芝刈りエリアを作成
4. タスクを開始

6.5.3 芝刈りスケジュールを作成

- スケジュールタスク機能を使用すると、タスクスケジュールを設定できます。設定に従って芝刈りロボットが自動的に作業を実行します。

注意：

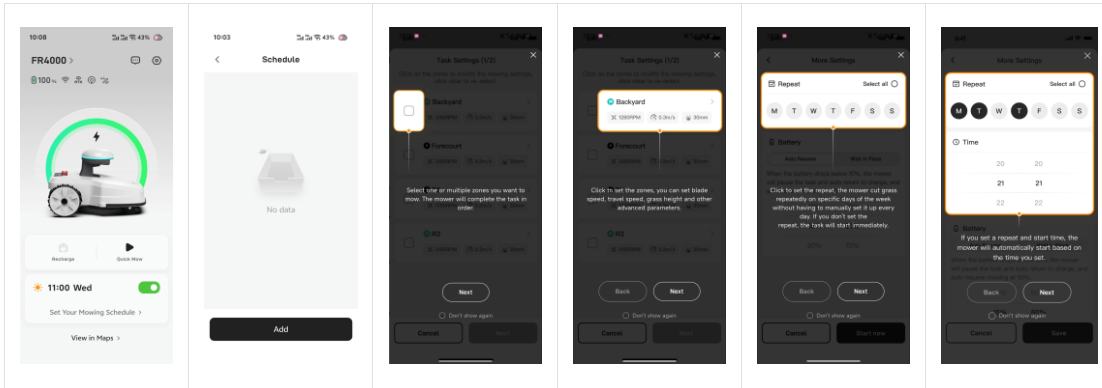
芝刈りスケジュールは地図作成後にのみ設定可能です。

芝刈りロボットの自動運転中にスケジュールタスクを変更しても、既に実行されたタスクには影響しません。

芝刈りスケジュールは、定时作业テーブルと禁止作业スケジュールに分けられます。

6.5.3.1 定时作业スケジュール

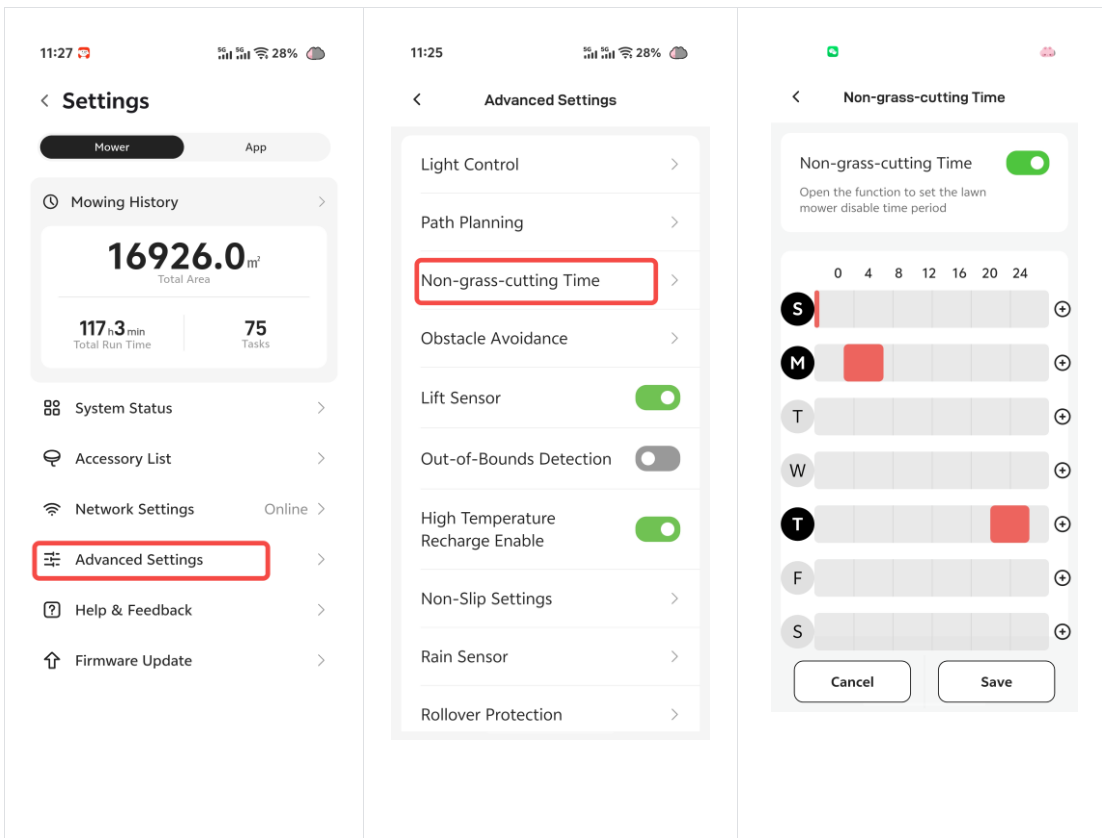
毎日の作業時間、作業区画などのパラメータを設定します。



6.5.3.2 作業禁止スケジュール

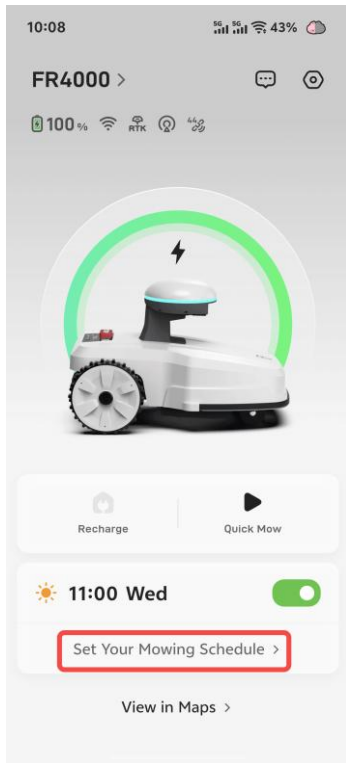
毎日の作業禁止時間帯を設定します。

設定した時間内は機械が作動せず待機状態となり、禁止時間終了後に未完了のタスクを再開します。



6.5.3.3 スケジュールタスクを変更

1. 製品トップページで{芝刈りスケジュールの設定}をクリックしてください。



2. 修正したいスケジュールタスク項目をクリックしてください。

9:41



Schedule



08:00



Backyard, Forecourt

Sun, Tue, Thu



02:00



Backyard, Forecourt

Sun, Tue, Thu



08:00



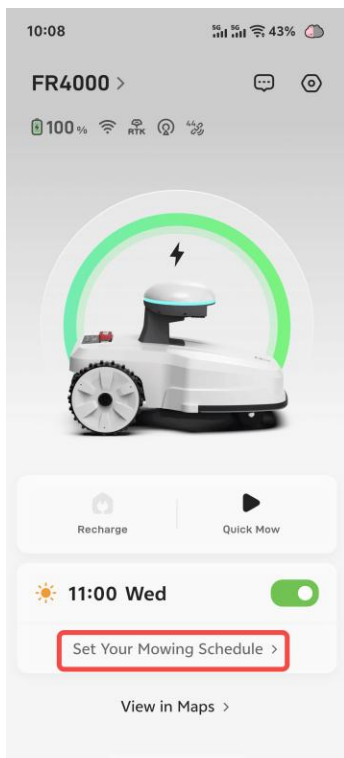
Backyard, Forecourt

Sun, Tue, Thu

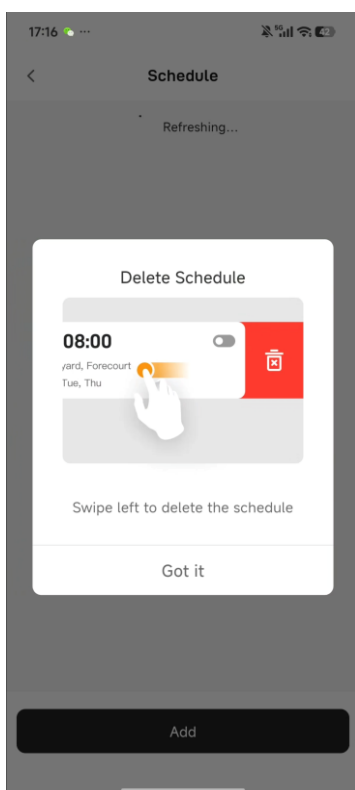
3. スケジュールタスクの開始時間、繰り返し頻度、作業エリア、区画芝刈り設定などのパラメータを変更してください。
4. {保存}ボタンをクリックして、スケジュールタスクを保存してください。

6.5.3.4 スケジュールタスクを削除

1. 製品トップページで{芝刈りスケジュールの設定}をクリックしてください。



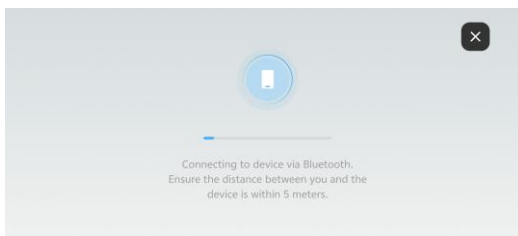
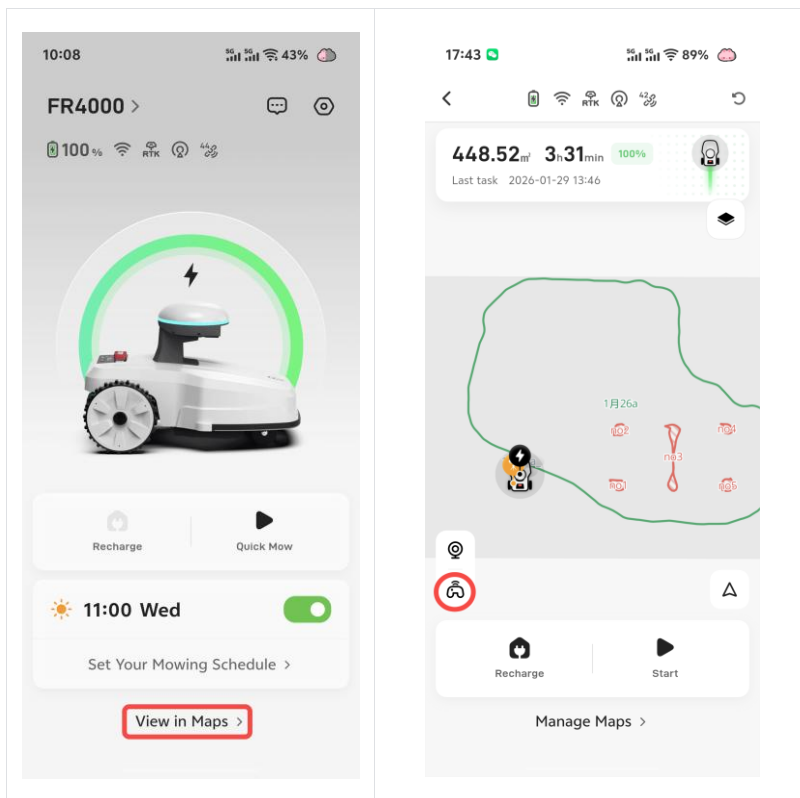
2. 左へスワイプして、削除したいスケジュールタスク項目を削除してください。



3. 表示された削除アイコンをタップし、確定してください。

6.5.4 手動リモコン操作

1. スマートフォンの Bluetooth 機能をオンにし、スマート芝刈りロボットとの距離が 3 メートル以内であることを確認してください。
2. 芝刈りロボットが正常に動作し、非常停止スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 製品機能トップページで{地図で表示}をクリックし、リモコンアイコンをクリックしてください。
4. アプリケーションが芝刈りロボットとの Bluetooth 接続を開始します。接続成功後、手動モード画面に移行します。
5. 前進/後進、左/右のジョイスティックを操作し、芝刈りロボットをリモート操作してください。
6. 速度アイコンをタップし、リモート手動モードでの走行速度を調整してください。



6.5.5 芝刈り作業

• 準備作業

自動芝刈りロボットが作業エリア内に充電ステーションを持ち、十分なバッテリー残量があることを確認してください。

芝刈り作業中に異常が発生した場合は、自動芝刈りロボットの非常停止ボタンを押してください。非

常停止ボタンの指示が優先され、タスクを一時停止し、芝刈りを中止します。

同一エリアでの1日複数回の芝刈りは芝を傷める恐れがあるため推奨しません。

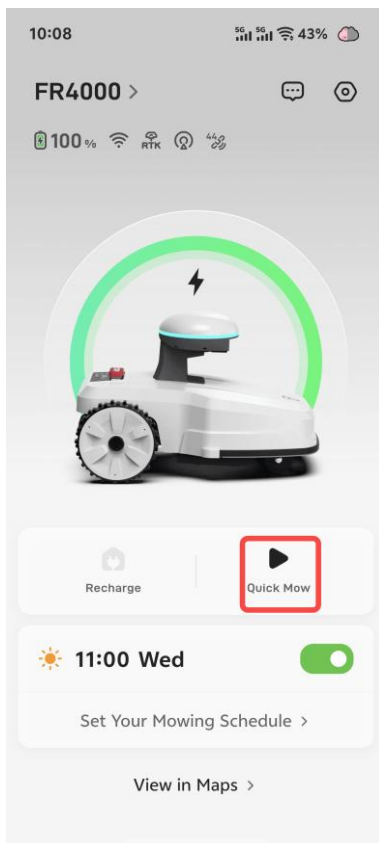
1回の芝刈りでの推奨残丈は、現在の芝丈の約2/3です。芝丈が60mm（2インチ）を超える場合は、最低残丈を40mm（1.6インチ）に設定することを推奨します。

- **アプリケーションによるワンクリック操作の起動**

注意:

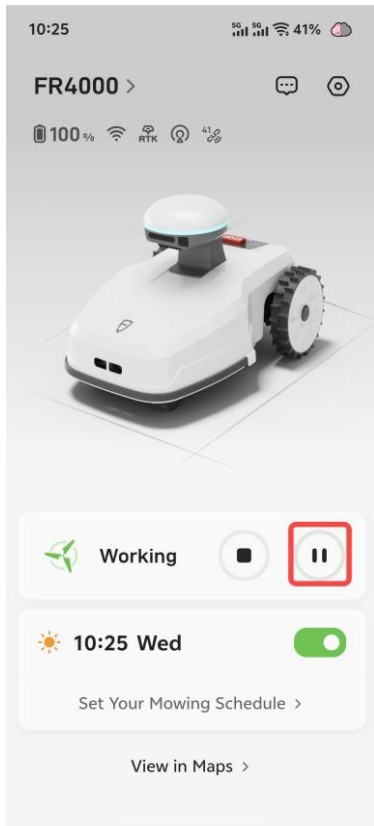
アプリケーションから起動した場合、芝刈りロボットは地図を作成した順序で、登録済みの全ての区画の芝刈り作業を実行します。

1. 芝刈りロボットアプリのホーム画面で、スタートボタン「クイックモウ」を長押ししてください。
2. 自動芝刈りロボットがワンクリック動作を実行します。



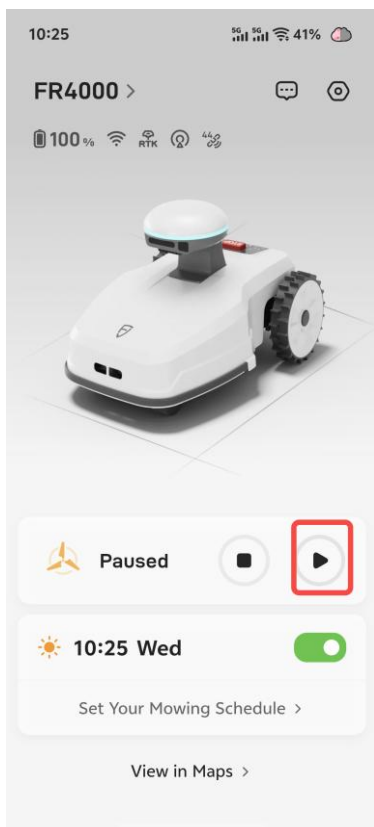
- **一時停止操作**

芝刈り機上部の操作パネルにある非常停止ボタンを押すか、APPの一時停止アイコンをタップしてください。



- 再開操作

芝刈り機上部の操作パネルにある芝刈りボタンと確定ボタンを押すか、APPの再開アイコンをタップしてください。



注意事項:

芝刈り作業中、バッテリー残量が少なくなった場合（10%以下）、スマート芝刈りロボットは自動的に芝刈りを中止して充電に戻ります。バッテリーが芝刈り再開閾値（初期設定 90%）に達すると、最後に芝刈りを行った位置へ自動的に戻り、芝刈り作業を再開します。

• スケジュールタスクの設定

1. APP を通じてスケジュールを設定してください。
2. 自動芝刈りロボットは、設定したスケジュールタスクに従って自動的に作業を開始します。

6.5.6 充電ステーションに戻る

6.5.6.1 自動充電

自動芝刈りロボットが芝刈り作業を正常に終了した場合、または復帰芝刈りの条件を満たした場合、自動的に充電ステーションに戻って充電を試みます。

充電機能を作動させるには、自動芝刈りロボットが指定された作業エリア内にあり、禁止エリアに入っていない必要があります。

6.5.6.2 手動充電

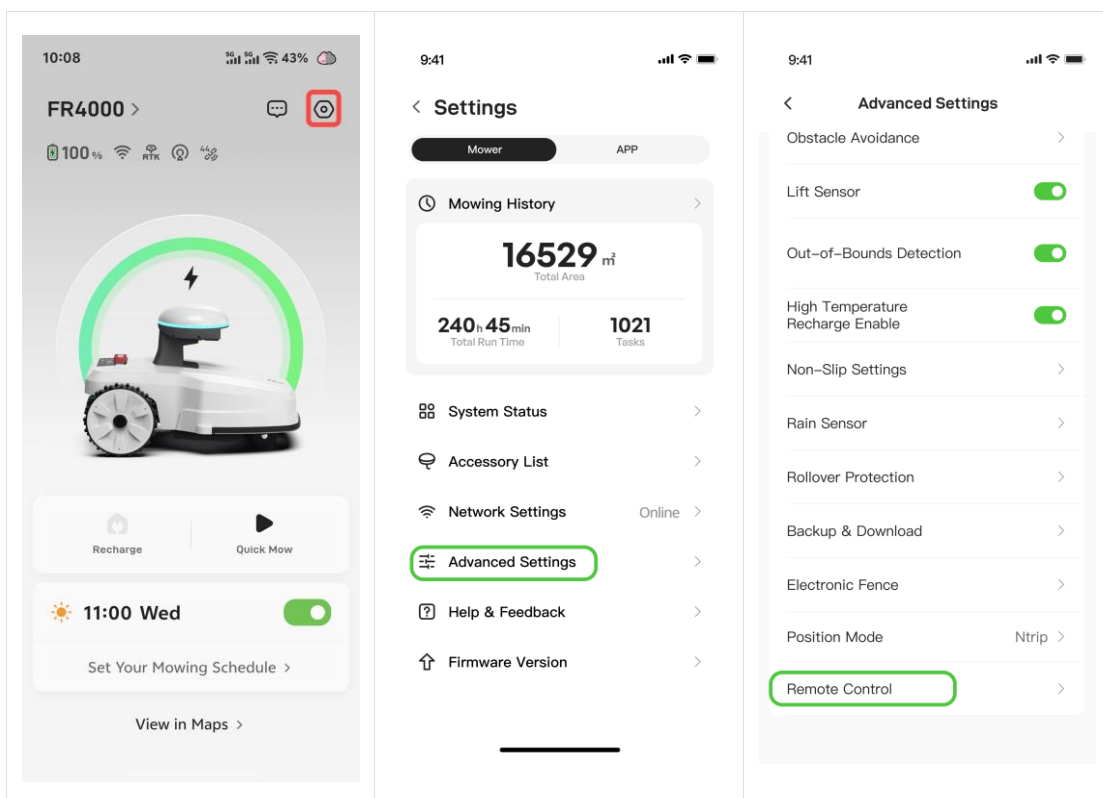
APP から指示を出すことで、スマート芝刈りロボットを充電ステーションに戻すことができます。

1. 芝刈りロボットアプリのホーム画面で{充電}をクリックしてください。
2. {OK}ボタンをクリックしてください。
3. 芝刈りロボットが充電機能を起動します。

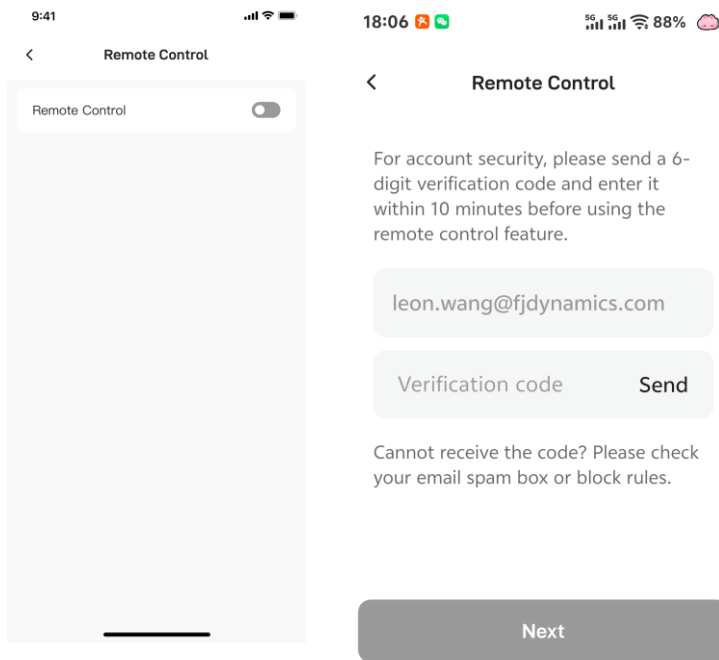
6.5.7 詳細設定

[リモコン操作]

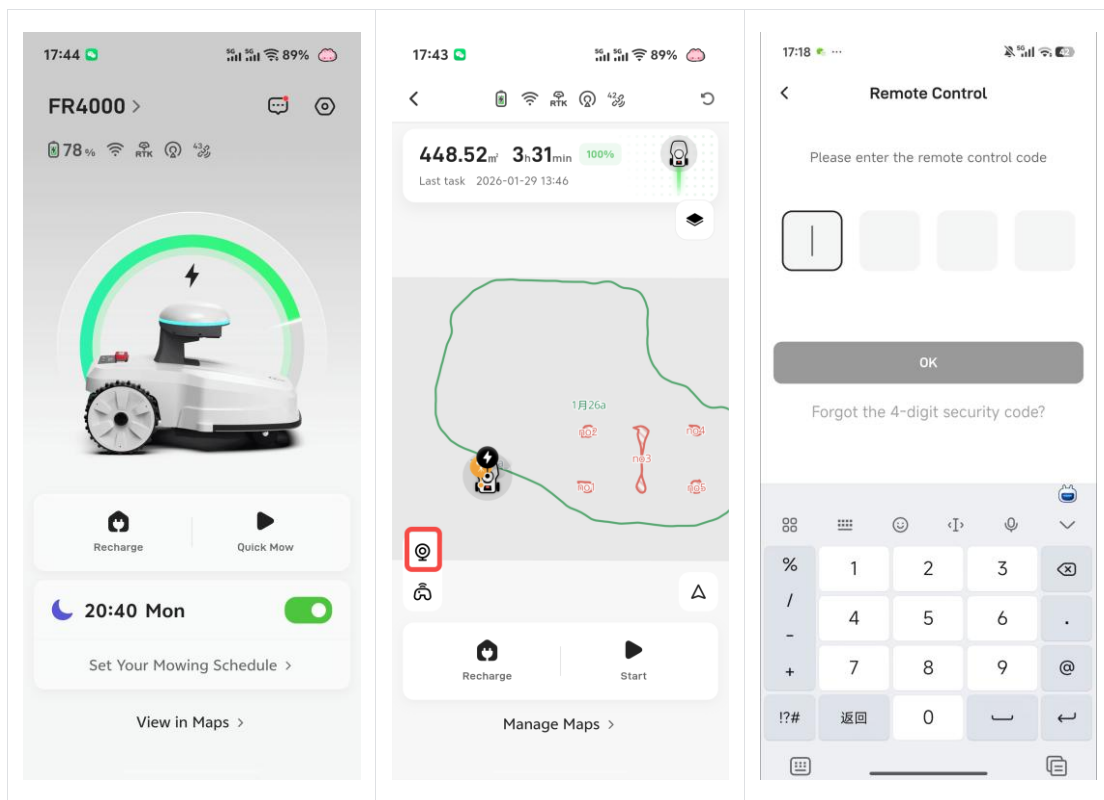
ステップ 1: 【設定】 - 【詳細設定】 - 【リモコン操作】



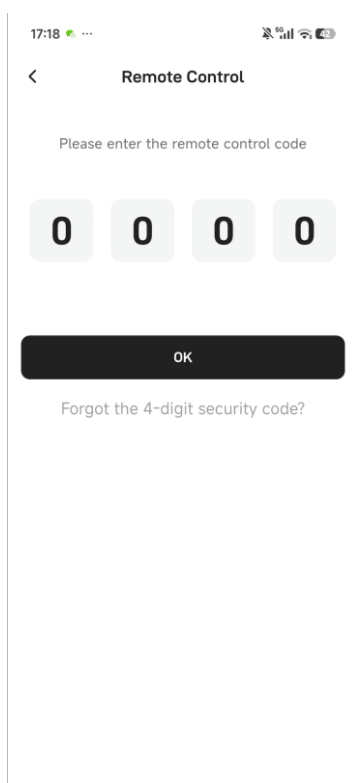
ステップ 2: リモコン選択を有効にする → メールアドレスでセキュリティ認証を行う → 認証コードを入力



ステップ 3: 4 桁のリモコンコードの設定を完了してください。
ホームページに戻り、下部にある{地図で表示}をクリックしてください。
左下隅の{カメラ}アイコンをクリックしてください。



ステップ 4: 4桁のリモコンコードを入力してください。



ステップ 5: この機能を使用して芝刈り機をリアルタイムで監視できます。

- 「地図」アイコンをクリックすると、芝刈り機の位置をリアルタイムで確認できます。
- 画面上部で動作状態を確認できます。
- 右上の【停止】ボタンをクリックすると、芝刈り機を停止させることができます。
- また、右上のジョイスティックアイコンをクリックすると、芝刈り機を手動で操作できます。



【障害物検知】

- 特定の作業エリアやシーンでは、障害物回避機能の感度を調整し、よりスムーズな動作を実現できます。境界からの距離（0.1～1.5メートル）を設定可能で、辺縁刈り時には視覚カメラをオフにし、基本的な衝突バンパーのみで障害物を回避するようにできます。
- 廊下障害物回避スイッチ：廊下での障害物回避機能をオンまたはオフに選択できます。

【照明制御】

ユーザーは自由にライト帯を消灯したり、起動時間帯を設定したりできます。

【持ち上げセンサー設定】

ユーザー自身で持ち上げセンサーをオフにすることができます。

【雨滴センサー設定】

雨滴センサーをオフにするか、降雨一時停止時間（最長 48 時間）を設定できるようになりました。

【転倒防止機能】

角度設定（15%～60%）を調整できるようになり、傾斜センサーが作動します。

【電子フェンス】

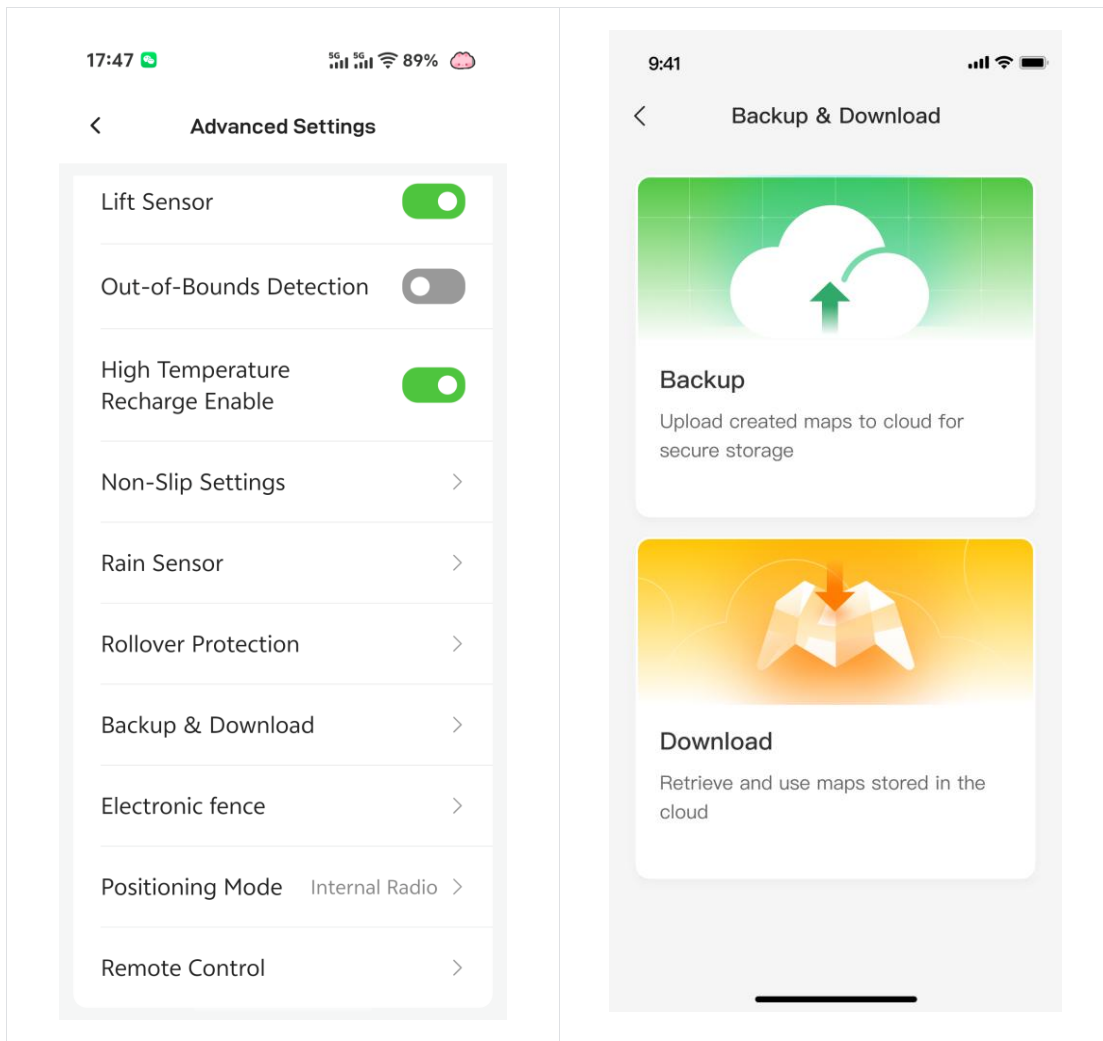
本体または充電ステーションを起点として、半径範囲のフェンスエリアを設定できるようになりました。

フェンスエリアを超えた場合、警告メールが送信され、動作が停止します。

【バックアップとダウンロード】

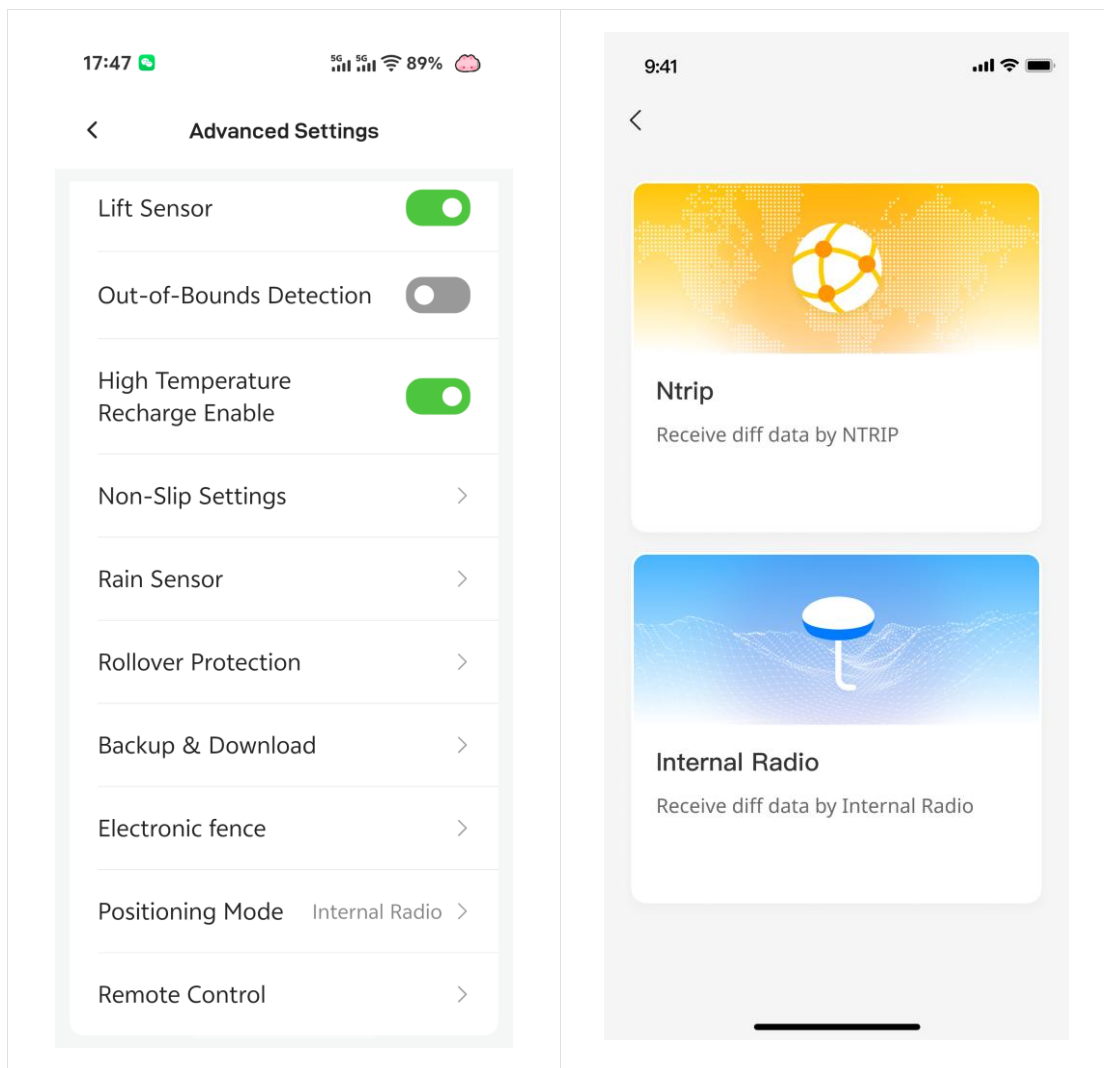
ローカルマップを手動でアップロードし、現在のマップ情報をバックアップできるようになりました。

また、後からクラウドからバックアップマップをダウンロードすることも可能です。



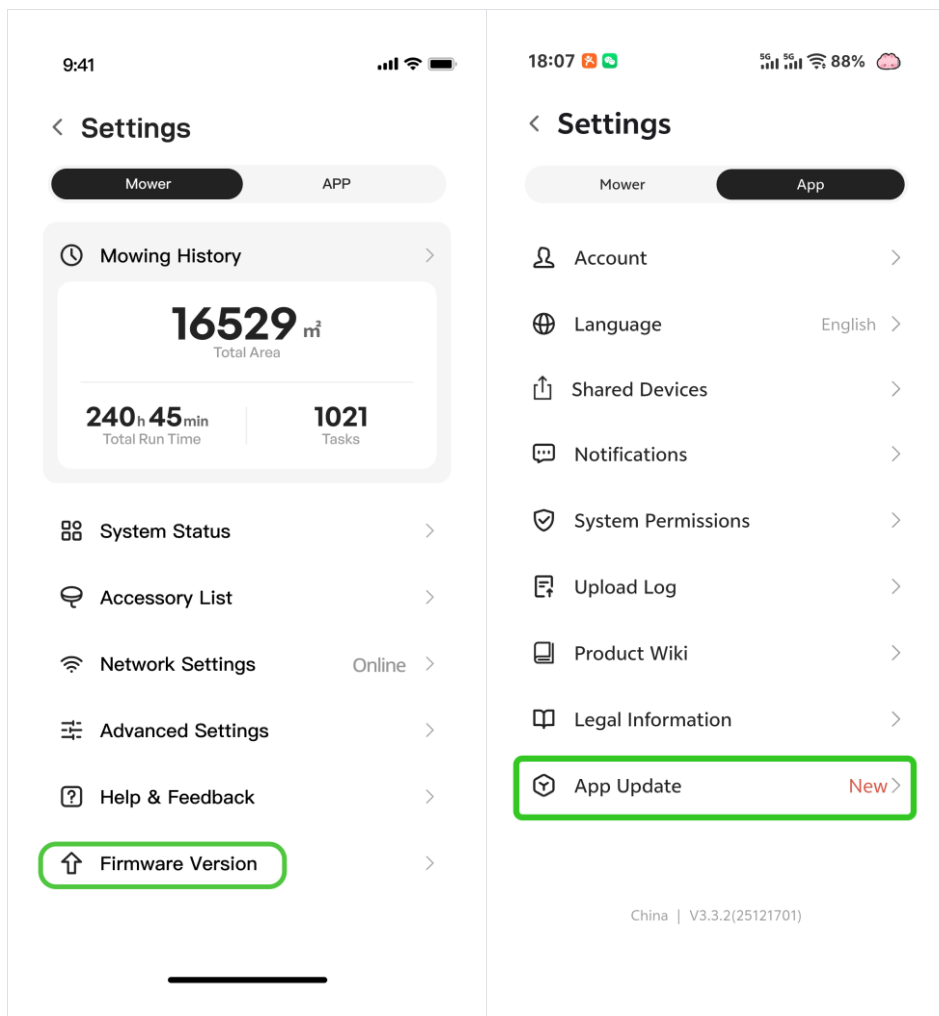
【位置測位モード切替】

ユーザーが自ら位置測位モードを切り替えられるようになりました。Ntrip または内部無線を選択できます。



6.5.8 ファームウェアのアップグレード

1. 自動芝刈り機のバッテリー残量が十分で、しばらく稼働していない状態のときにアップグレードすることをおすすめします。
2. 自動芝刈り機が良好な Wi-Fi 電波に接続されていることを確認してください。
3. {ファームウェアバージョン}に移動し、{アプリ更新}をクリックしてください。
4. アップグレードが完了するまでお待ちください。



7. メンテナンス

7.1 メンテナンスプラン

サイクル	メンテナンス内容
初回使用前	<ul style="list-style-type: none"> • 起動し、故障表示がないか確認してください • 車輪に緩みがないか観察してください • カッターを点検してください <ul style="list-style-type: none"> ◦ 刃は鋭利である必要があります。 ◦ 刃とディスクのボルトが緩んでいないか確認し、レンチで締め直してください。 • ボルト、ナットなどの部品に破損、紛失、緩みがないか点検してください。すべての保護装置が正しく取り付けられ、正常に作動していることを確認してください。 • オペレーティングシステムとアプリケーションを最新の状態に保つため、ソフトウェアの更新を確認し、更新がある場合は速やかにインストールしてください（通知に従っ

	て定期的に更新してください)。
使用中	<ul style="list-style-type: none"> 濡れた芝生や凸凹の激しい場所での長時間作業を避けてください。 定期的に停止し、刃にゴミが絡まっていないか確認してください。 石や木の根などの硬い物との衝突を避けてください。 穴の開いた場所での作業を避けてください。 木の幹などの大きな障害物、椅子の脚などの細い障害物は機械に挟まりやすいため、これらを立ち入り禁止エリアに設定してください。
毎月使用後	<ul style="list-style-type: none"> カッティングテーブルを清掃してください（状況に応じて点検頻度を増やしてください）。 <ul style="list-style-type: none"> アプリのアクセサリバーでカッターを下げ、電源をオフにしてください。 細い水道管を使用して適度に洗い流し、高圧洗浄ガンによる強力な洗浄は避けてください。 清掃・乾燥後、機械の電源を入れてください。 カッターを点検してください。 <ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて4~6週間ごとに実施してください。 後輪のボルトの緩みを確認し、締め直してください。 前輪の詰まりを点検し、刈り草を清掃してください。 機械とカメラのフロントガラスを拭いてください。 充電ステーション周辺の雑草を除去してください。

7.2 芝刈り機の保管

機械を長期間使用しない場合は、以下の手順で保管してください。

- 車両全体の電源を切ってください。
- 前項の手順に従って芝刈り機を清掃してください。
- カッターを点検し、必要に応じて交換または研磨してください（メンテナンスプランの項を参照）。
- 芝刈り機は屋内の乾燥した清潔な場所、風通しがよく子供の手の届かない場所に保管してください。肥料や岩塩などの腐食性物質のそばに置かないでください。
- 固いプラスチック製のシートで芝刈り機を覆わないでください。プラスチック製カバーは湿気を閉じ込め、錆や腐食の原因となります。

- 摩耗・損傷した交換が必要な部品がないか十分に点検し、販売店から注文してください。
- バッテリーパックのメンテナンス詳細については、本マニュアルのバッテリーパックメンテナンスの項を参照してください。

7.3 # バッテリーメンテナンス

	<p>メンテナンス時は、Fengjiang Intelligence（豊江インテリジェンス）指定のバッテリーのみ交換に使用してください。その他の部品を使用すると、危険または製品の損傷を引き起こす可能性があります。</p>
	<p>バッテリー修理時は喫煙しないでください。</p>
	<p>バッテリー付近で作業する際は、必ず安全メガネと保護服を着用してください。絶縁工具を使用してください。</p>
	<p>充電スタンドの清掃に圧縮乾燥空気の使用は推奨されません。 やむを得ず圧縮空気を使用する場合は、必ず保護メガネを着用してください。 粉塵の多い環境では、防塵マスクも着用してください。</p>
	<p>充電には Fengjiang Intelligence（豊江インテリジェンス）が承認した充電スタンド（充電器）を使用してください。 バッテリーの充電方法を誤ると保証が無効となり、機器の損傷、重大な傷害または死亡事故につながるおそれがあります。</p>

お使いの芝刈り機はバッテリーで駆動しており、適切にメンテナンスすることで長期間の使用が可能です。適切な管理のため、以下の手順に従ってください。

- 芝刈り機を使用しないときは、速やかに車両の電源スイッチを切り、無駄なバッテリー消費を抑えてください。
- バッテリーの点検時には、バッテリーケーブルがしっかり固定されているか確認してください。
- バッテリー端子付近に草、泥、ゴミが溜まらないようにしてください。
- バッテリーが低電圧保護になった後、長時間放電状態のまま放置しないでください。バッテリー破損の原因となります。
- バッテリーは、火の気や風通しの良い乾燥した場所で充電してください。充電スタンド（充電器）を雨水、蒸気、液体に触れさせないでください。
- 豊江インテリジェンス（Fengjiang Intelligence）推奨の充電スタンドは、同社提供のバッテリー専用です。

- 充電スタンドの電極や出力コネクタの絶縁されていない部分に触れないでください。
- バッテリーパックの寿命を延ばし、モジュールを良好な状態に保つため、以下の指示に従ってください。
- バッテリーパックの過放電は、寿命の短縮や永久的な破損につながります。
- バッテリーが過放電で停止した場合は、できるだけ早く充電してください。5～10分の充電でも効果があり、満充電まで行う必要はありません。過放電停止後、24時間以内に充電することをおすすめします。
- バッテリーパックを長期間（数日～数週間）使用しない場合は、車内の電源スイッチを切り、待機電力を削減してバッテリーの保存期間を延ばしてください。
- バッテリーを長期保存する場合は、保存開始前に約50%充電してください。また、3ヶ月ごとに50%以上まで充電し、健康な状態を維持してください。
- バッテリーパックの長期保存には、温度25°C（77°F）の環境を推奨します。
- 保存温度が-20°C～45°C（-4°F～113°F）の場合：保存期間は1ヶ月以内を推奨
- 保存温度が0°C～35°C（32°F～95°F）の場合：保存期間は6ヶ月以内を推奨
- 最適な放電動作温度は0°C～50°C（32°F～122°F）です。この温度範囲内での使用をおすすめします。
- バッテリーパックは激しい振動のない場所に保管してください。
- バッテリーメンテナンスのヒント：
 - バッテリーが切れる前に充電してください。
 - 満充電のバッテリーへの再充電は避けてください。
 - 適切な室温で充電し、バッテリーが冷えてから追加充電を行ってください。

7.4 メンテナンスのポイント


- 芝刈り機を水平な場所に駐車してください。カッタースイッチが「切」の状態であることを確認し、カッティングテーブルを上げて、非常停止スイッチを押してください。

7.5 保証プラン

異常な使用、水没以外で、取扱説明書に従ってメンテナンスを行った場合、以下の品質保証を提供します。

コンポーネント	保証期間中
芝刈り機本体	2年
バッテリー	2年

充電ステーション・RTK	2年
車輪	保証対象外
装飾部品	保証対象外
芝刈り機の刃、カッティングディスク	保証対象外





調整、清掃、修理を行う前に、すべての可動部が停止するまで待ってください。

電気を使用する修理またはメンテナンスは、訓練を受けた保守作業員だけが実施してください。また、本マニュアルの安全警告事項をよくお読みください。

- 安全カバーを取り外す必要のあるメンテナンス作業は、訓練を受けたサービス技術者によるのみ実施してください。
- 棒などの工具を使用してカッティングテーブルの底部を清掃し、体を近づけないでください。
- バッテリールームとカッティングテーブルを清潔に保ち、ゴミ、刈り草、その他の破片の堆積を防いでください。
- バッテリールーム、電気制御ボックス、カッティングテーブルなどの汚れや破片をすべて清掃してください。水、溶剤、強力な洗浄剤、研磨剤は使用しないでください。
- バッテリーの修理、芝刈り機の刃の研磨、堆積した破片の除去を行う際は、必ず保護メガネを着用してください。芝刈り機が稼働中は、カッティングテーブル、カッターまたは付属品の調整や修理を試みないでください。
- 機械がジャッキブラケットで安全に支えられている場合を除き、機械の下で作業しないでください。機械を持ち上げてジャッキブラケットに置いた場合、安全カバーを取り外す必要のあるメンテナンス作業は、訓練を受けたサービス技術者によるのみ実施してください。
- カッティングテーブルの底部を点検する前に、電源スイッチが「切」の状態（インジケータライトが消灯）であることを確認し、カッティングテーブルの刃のスイッチが誤って起動しないようにしてください。
- 清掃用ブラシなどの工具を使用してカッティングテーブルの底部を清掃し、体を近づけないでください。
- バッテリールームとカッティングテーブルを清潔に保ち、ゴミ、刈り草、その他の破片の堆積を防いでください。
- バッテリールーム、電気制御ボックス、カッティングテーブルなどの汚れや破片をすべて清掃してください。
- バッテリーの修理、芝刈り機の刃の研磨、堆積した破片の除去を行う際は、必ず保護メガネを着

用してください。芝刈り機が稼働中は、カッティングテーブル、刃または付属品の調整や修理を試みないでください。

この芝刈り機に使用されているバッテリーには、以下の有毒かつ腐食性の物質が含まれています：リチウムイオン。

	すべての有害物質は、環境汚染を防ぐために特定の方法で廃棄しなければなりません。損傷または摩耗したリチウムイオンバッテリーを廃棄する前に、地域の廃棄物処理機関または環境保護局に連絡し、情報と具体的な指示を入手してください。バッテリーは、リチウムイオン処理を行う地域のリサイクルまたは処理センターに送付してください。
	バッテリーが破損した場合、液漏れの有無にかかわらず、充電または使用しないでください。バッテリーを廃棄し、交換してください。修理を試みないでください。けが、爆発、感電のリスクを回避し、環境への被害を防ぐため、バッテリーの端子に絶縁テープを貼ってください。

- バッテリーを分解したり損傷したりしないでください。
- バッテリーを開封しないでください。
- 液漏れが発生した場合、流出した電解液は腐食性かつ有毒です。河川などに流さず、皮膚に触れさせたり、口に入れたりしないでください。
- これらのバッテリーを一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。
- 燃やさないでください。
- 廃棄物埋立地になる場所に置かないでください。

8. トラブルシューティング

8.1 カッティングテーブルの草刈り機能異常とその対処方法

不明な点がある場合は、販売店にお問い合わせください。

刈り草の排出が悪い	芝生が湿っている	芝生が乾いてから作業してください
	草丈が長い	刈り高を上げ、2回に分けて刈ってください

	刈り高が低すぎる	刈り高を上げてください
	作業速度が速すぎる	作業速度を下げてください
刈り跡が残る	作業速度が速すぎる	作業速度を下げてください
	草丈が長い	刈り高を上げ、2回に分けて刈ってください
	カッターが摩耗または損傷している	新しいカッターに交換してください
	カッティングテーブル内部に草が堆積している	カッティングテーブル内部を清掃してください
刈りむらが発生する	作業速度が速すぎる	作業速度を下げてください
	カッターの切れ味が悪い	カッターを研磨してください
	ブレードが曲がっている	新しいカッターに交換してください
	カッティングテーブルの水平が不適切	マニュアルの「カッティングテーブルの水平と高さ位置の調整」の項に従ってレベル調整を行ってください
	カッターが摩耗している	新しいカッターに交換してください
	ローラーの設定が不適切	ローラーの高さを調整してください
	タイヤ空気圧が低い	規定の空気圧まで空気を入れてください

8.2 バッテリーの故障と対処方法

バッテリーを取り扱う際は、バッテリーの注意事項をよくお読みください。

不具合内	故障状態	トラブルシューティングまたは解決方
------	------	-------------------

容		法
芝刈り機が始動しない	バッテリーが上がっている	バッテリーを完全に充電してください
	バッテリー端子の接触不良	端子を清掃した後、ボルトとナットを再度締め直してください
	バッテリーの寿命が尽きている	バッテリーを交換してください
	配線、ハーネス、スイッチに問題がある	販売店に修理を依頼してください
充電できない	バッテリーの寿命が尽きている	バッテリーを交換してください
端子が激しく腐食し過熱している	端子の締結が不十分	端子を清掃した後、ボルトとナットを再度締め直してください
バッテリー液が突然減少する	バッテリーに亀裂や小さな穴がある	バッテリーを交換してください
	充電電圧が高すぎる	充電パイル（充電器）を確認してください

8.3 芝刈り機ハーネスのトラブルシューティング

芝刈り機が始動しない	電源スイッチ下部のワイヤーハーネス端子の接触不良	コネクタが緩んでいる場合はスイッチに再挿入し、スイッチハーネスピンが緩んでいる場合は販売店に修理を依頼してください
	バッテリーへのワイヤーハーネスのプラグインが緩んでいる	プラグインを確認し、差し込んでください
モーターが	各モーターのパワーハーネ	パワーハーネスと通信ハーネスのオ

作動しない	スまたは通信ハーネスに問題がある	ン/オフ状態、プラグインの緩みを確認してください。必要に応じて販売店に修理を依頼してください
スイッチングデバイスが作動しない	バッテリーへのワイヤーハーネスのプラグインが緩んでいる	インターフェース表示に従って問題スイッチを確認し、スイッチのプラグインが異常かどうかを確認してください。異常がある場合は販売店に修理を依頼してください

8.4 カuttingテーブルの清掃

注意事項:

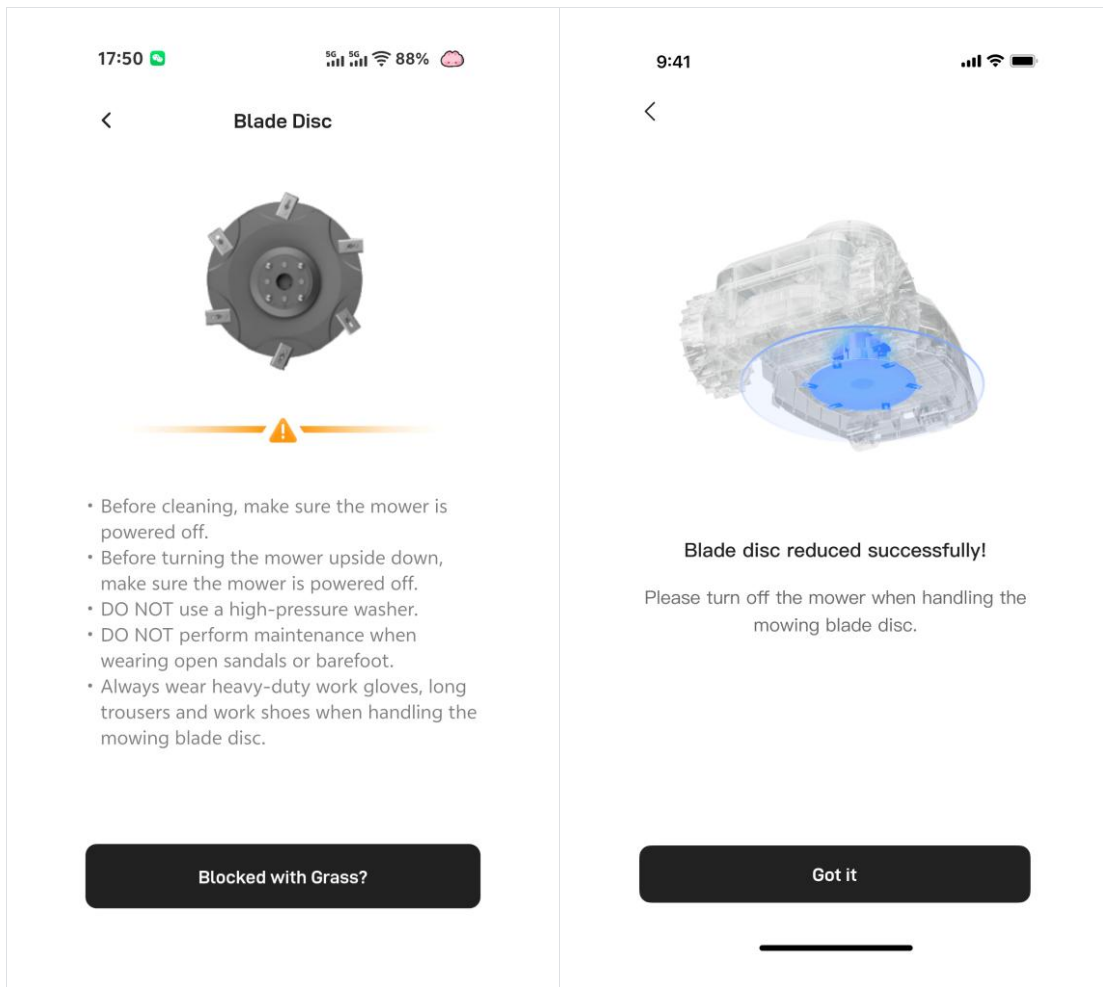
- 必ず留意してください: 安全を確保するため、Cuttingテーブルの清掃時には厚手の軍手、ズボン、作業靴を着用してください。
- 手順に従い、機械の電源を切った後、Cuttingテーブルの清掃を開始してください。
- 柔らかいブラシまたは布で芝刈り機の外装を十分に清掃してください。アルコール、ガソリン、アセトン、その他腐食性・揮発性溶剤は使用しないでください。これらの物質は芝刈り機の外装および内部構造を損傷する恐れがあります。

8.4.1 Cuttingデッキの詰まり

芝刈り機のCuttingテーブルに草が詰まっていると思われる場合は、芝刈り機のリフト機能を使用して詰まりを確認・清掃してください。

1. 芝刈り機の電源を入れた状態で、モバイルアプリを開き、【設定】 → 【アクセサリ一覧】 → 【ブレードディスク】へ進み、【草が詰まっていますか?】 ボタンをタップしてください。
2. Bluetooth 接続が成功すると、Cuttingテーブルは最大限まで外側に展開します。
3. 展開が完了したら、芝刈り機の電源を切り、本体を持ち上げて、Cuttingテーブルに草が詰まっていないか確認してください。
4. 処理が終わったら芝刈り機を下ろして電源を入れてください。昇降時にCuttingディスクは自動的に元の状態に戻ります。

注意: Cuttingテーブルを清掃する際は、必ず手袋、ズボン、作業靴を着用してください。



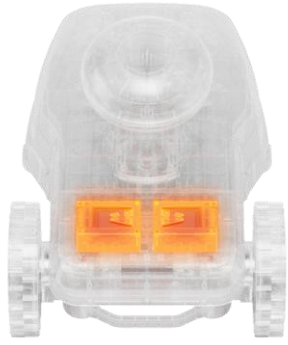
8.5 一般的な不具合と対処方法については、アプリケーション内に表示されます。

これらの部品を確認することでセルフチェックを実施し、故障箇所を特定することができます。

緊急停止



バッテリー異常



位置異常



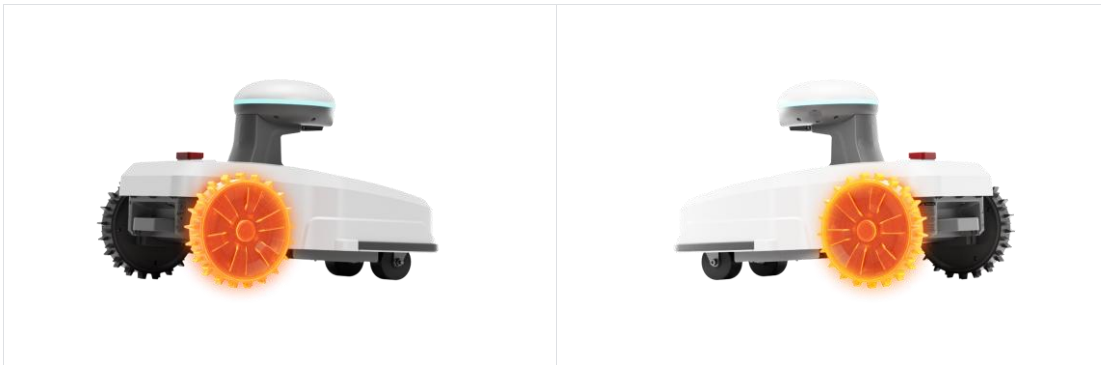
衝突



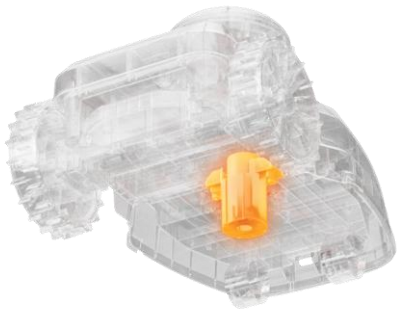
前輪異常



駆動輪異常



昇降モーター異常



カッターモーター異常



9. 廃棄処理

本製品には金属材料および電子部品が含まれています。廃棄処理は環境保護の原則に基づき、地域の法令を遵守して行ってください。廃棄物（包装資材、金属部品、電子部品などを含む）は、地域のリサイクル資格を持つ事業者を引き渡して処理してください。

10. 保管

芝刈り機の性能維持と寿命延長のため、正しい保管方法は非常に重要です。以下に、芝刈り機を保管する際の注意事項を記載します。

- 1. 乾燥と換気：**芝刈り機は湿気を避けるため、乾燥した場所に保管してください。湿気により電気系統や機械部品の動作に不具合が生じる恐れがあります。また、換気の良い環境にすることで、密閉による内部部品の錆や腐食を防ぎます。
- 2. 直射日光・雨を避ける：**直射日光や雨に長時間さらされると、本体の色あせ・変形、塗装配管の劣化が急速に進み、内部の電子・機械部品の性能にも影響する場合があります。日光と雨が直接当たらない場所で保管してください。
- 3. 腐食性ガスのない環境：**保管場所には腐食性ガスが存在しないようにしてください。金属部品の腐食を引き起こし、寿命に影響する恐れがあります。
- 4. 定期的な点検とメンテナンス：**適切な環境で保管していても、定期的に点検・整備を行うことを推奨します。機械部品の摩耗、配管接続部の漏れなどを確認し、必要に応じて速やかに整備・交換を行ってください。

11. 重要事項

アメリカ合衆国連邦通信委員会（FCC）

FCC ステートメント

本装置は、FCC 規則第 15 部に適合しています。本装置の操作は、以下の 2 つの条件に従うものとします。(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさないこと。(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れること。